

平成 29 年度「スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・
ビジネスパーソン向け国民運動（運動・スポーツ習慣づくり）」

事業報告書

2018 年 3 月 30 日
株式会社 博報堂

目 次

1. 委託事業全体の趣旨・目的	3
1. 1 委託事業の概要	3
(1) FUN+WALK PROJECT（官民連携によるムーブメント創出）	3
(2) 好循環の創出に向けたエビデンス調査	3
(3) スポーツエールカンパニー（企業による取組の奨励方策等の検討）	3
1. 2 事業全体スケジュール	3
2. 個別事業の成果	4
2. 1 FUN+WALK PROJECT（官民連携によるムーブメント創出）	4
(1) ミッションの実現に向けて	4
(2) 「土台」となる活動	4
(3) 推進協議会の設置	4
(4) 具体的な事業実施内容	5
(5) プロモーション活動の実施（メディアを通じた情報発信等）	10
(6) FUN+WALK PROJECT の成果	19
(7) 今後に向けた課題	19
2. 2 好循環の創出に向けたエビデンス調査	19
(1) 調査の目的	19
(2) 調査の実施方法	19
(3) 調査集計結果	20
(4) 調査結果サマリー	42
(5) 調査結果から得られた課題、取り組むべき事項	42
2. 3 スポーツエールカンパニー（企業による取組の奨励方策等の検討）	41
(1) 制度創設の背景・目的	41
(2) 名称募集及びロゴマークの決定	41
(3) スポーツエールカンパニー認定企業の募集	42
(4) 認定委員会の開催	42
(5) 認定企業の発表	44
(6) スポーツエールカンパニー認定制度の今後に向けた課題	55
3. 全体の考察、まとめ	56

1. 委託事業全体の趣旨・目的

我が国の国民医療費が 40 兆円を超える中、スポーツ人口の拡大を通じて、国民医療費の抑制への貢献や健康寿命を平均寿命に限りなく近づけることのできる社会を構築することが重要となっている。

こうした中、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率は、42.5%に留まっており、特に 20 代から 40 代のスポーツ実施率が低くなっている。また、実施頻度が減ったあるいは増やせない理由としては「仕事や家事が忙しいから」という理由が最も多くなっている（平成 28 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」）。

このため、官民で連携して国民運動等を展開することを通じて、忙しいビジネスパーソンでも通勤時間や休憩時間等を活用して気軽に運動・スポーツに取り組める環境を整備し、運動・スポーツ習慣の定着による健康増進を図ることを本事業の目的とする。

1. 1 委託事業の概要

ビジネスパーソンの運動・スポーツ習慣づくりのため、以下の業務を実施した。

(1) FUN+WALK PROJECT（官民連携によるムーブメント創出）

ビジネスパーソンを中心に本格的なスポーツをする人のみならず、日々の暮らしの中で気軽に体を動かす人も含めて、スポーツ参画人口の拡大を進めていくプロジェクトである「FUN+WALK PROJECT」を発足させた。

普段の生活から気軽に取り入れることのできる「歩く」に着目し、「歩く」に「楽しい」を組み合わせることで、自然と「歩く」習慣が身につくことを目指した。

(2) 好循環の創出に向けたエビデンス調査

FUN+WALK PROJECT の自走化、認知、普及を推し進めるため、また、プロジェクトを通じての国民の意識変容等を把握するためにウェブアンケート調査及び結果の分析を実施した。

(3) スポーツエールカンパニー（企業による取組の奨励方策等の検討）

朝や昼休みなどに体操・ストレッチをするなどの運動機会の提供や、階段の利用や徒歩・自転車通勤の奨励、あるいはスタンディングミーティングの実施など、社員の健康増進のためスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」（英語名称：Sports Yell Company）として認定する制度を創設した。

1. 2 事業全体スケジュール

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| ➤ 2017 年 10 月 2 日 | 「FUN+WALK PROJECT」発足発表 |
| ➤ 2017 年 8 月 3 日～10 月 31 日 | 「スポーツエールカンパニー」認定企業募集 |
| ➤ 2017 年 12 月 6 日 | 「FUN+WALK PROJECT」トライアルデー開催 |
| ➤ 2017 年 12 月 12 日 | 「スポーツエールカンパニー」認定企業発表 |
| ➤ 2018 年 2 月 14、15 日 | 好循環の創出に向けたエビデンス調査—事前調査実施 |
| ➤ 2018 年 3 月 1 日 | 「FUN+WALK PROJECT」キックオフイベント開催 |
| ➤ 2018 年 3 月 5 日～18 日 | 「FUN+WALK WEEK」開催／長官による企業視察取材実施 |
| ➤ 2018 年 3 月 17、18 日 | 好循環の創出に向けたエビデンス調査—事後調査実施 |

2. 個別事業の成果

2. 1 FUN+WALK PROJECT (官民連携によるムーブメント創出)

(1) ミッションの実現に向けて

運動レベルは人それぞれであり、本格的にスポーツを楽しんでいる人から、現在まったく運動をしていない人まで存在する。国民運動として大きなプロジェクトにしていくためには、すべての人を巻き込んでいくための様々な活動が必要になるため、すでに運動している人や様々な人の趣味嗜好によって対応が異なる本格的な運動やアクティビティよりも、現在運動していない人を巻き込み、活動を大きくさせるための「土台」となる活動が最も重要であり、平成 29 年度は初年度の活動として、「土台」となる活動をいかにつくるかに注力した。

(2) 「土台」となる活動

現在、運動していない人を運動に巻き込むために、新たに何かを始めさせることのハードルは高い。運動していないと思っている人でも、実はやっている運動が「歩く」ということである。今年度の事業においては、普段意識しておらず、またあまり運動と捉えられていない、この「歩く」という隠れ運動を顕在化させ、大きな「土台」となる活動を作っていくことを目指す。

(3) 推進協議会の設置

本事業を広く国民運動として推進していくための行動メニュー、コンセプト、ネーミング及びロゴマーク等を検討、設定するため、官民連携による推進協議会を設置した。

①推進協議会委員 ※敬称略／順不同

左三川 宗司	(一社)日本経済団体連合会 政治・社会本部 統括主幹 オリンピック・パラリンピック等推進室長
五十嵐 克也	日本商工会議所 地域振興部長
荳野 恭成	全国商工会連合会 総務部長
戸張 隆夫	(一社)日本アパレル・ファッション産業協会 専務理事
斎藤 敏一	(公社)スポーツ健康産業団体連合会 会長
松村 剛	(一社)日本フィットネス産業協会 事務局長
小松原 祐介	健康保険組合連合会 保健部長
岡田 邦夫	NPO 法人健康経営研究会 理事長
森 晃爾	産業医科大学産業生態科学研究所 教授
萩 裕美子	東海大学体育学部 教授
國定 勇人	2020 年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合 会長
安達 栄	スポーツ庁 健康スポーツ課長

②推進協議会の開催

平成 29 年度は、下記の日程にて 2 回開催し、本プロジェクト普及に向けた協議を行った。

◆ 第 1 回推進協議会

日時：平成 29 年 8 月 8 日 (火) 17:00~19:00

場所：(株)博報堂 13 階プレールーム

議題：事業概要（目的、アクションなど）について
普及実行委員会について
プロジェクト名及びロゴについて
アクション名及びロゴについて

議事概要：

本プロジェクトの普及のため、都市部のビジネスパーソンに加え、郊外も含めた全国の様々なターゲットに合ったキーアクションも検討すべきとの意見が出た。加えて、「歩く」を習慣づけるための動機として、自身の健康増進など“内発的動機”と、歩くことで得られるお得なインセンティブなど、“外的動機”の両面を検討する必要性が議論された。

普段よりプラス 1,000 歩、1 日 8,000 歩という、本プロジェクトが定める目標歩数の妥当性について議論された。

◆ 第 2 回推進協議会

日時：平成 29 年 9 月 14 日（木） 13：00～15：00

場所：(株)博報堂 7F プレルーム

議題：ペルソナごとにアクションを変えることの検討

「歩く」動機づくりの検討（外発的動機、内発的動機作りの必要性）
目標歩数 8,000 歩の妥当性について

議事概要：

第 1 回推進委員会の議論を受け、実施方針を決定。

ターゲットごとにアクションを設定することに関しては、“歩く”が楽しくなる、様々なコンテンツを提示することで、広く全国の生活者に「歩く」ことを習慣づけるプロジェクトとする。

「歩く」動機づくりの検討（外発的動機、内発的動機作りの必要性）については、歩くことで得られる健康的なメリットに加え、その他の健康以外のインセンティブ（「おトク」や「おいしい」など）を情報発信していく。

目標歩数の妥当性については、群馬県中之条町で行われた研究成果などを参考に、また、まずは普段の生活の中で気軽に取り組めるよう、プラス 1,000 歩（プラス 10 分）、1 日 8,000 歩と定めることで決定。

（4）具体的な事業実施内容

①行動メニュー、目標値の設定

運動不足を感じつつも、忙しくて、スポーツをする時間が取れない働き盛り世代を中心に、通勤時間や休憩時間といった日常生活の中での隙間時間を利用して「歩く」を促進するためのキーアクションとして、“歩きやすい服装”での通勤を推奨。

上記の推進協議会等での議論のもと、本プロジェクトでは1日の歩数を普段よりプラス 1,000 歩（約 10 分）することを目指し、まずは 1 日 8,000 歩（国民の平均歩数は男性 7,194 歩、女性 6,227 歩、出典：厚生労働省「平成 27 年国民健康・栄養調査結果の概要」）を目標として設定した。

②ロゴマーク・キャッチコピーの作成

本事業の普及及び趣旨の周知のため、プロジェクトの名称を「FUN+WALK PROJECT」とし、分かりやすいロゴマーク及びキャッチコピー等を作成した。

【ロゴマーク】



【キャッチコピー】

まいにちに「歩く」を足して、ハッピーになろう。

③プロジェクトサイトの作成、運営

本プロジェクトの事業概要の周知や情報発信及びロゴデータ利用申請受付等のため、公式ウェブサイトを作成し、2017年12月より運営を実施した。

- ◆ プロジェクトサイト URL : <http://funpluswalk.go.jp/>
アクセス数 (2018年3月27日現在) : 78,591件
- ◆ ロゴ利用申請数 (2018年3月27日現在) :
自治体・官公庁・報道機関 = 20
企業・団体 = 299

④参考スタイルの提案

ビジネスパーソン向けのシンボリックな活動として「仕事」と「ファッション」を包含する「歩きやすい服装での通勤」を推進。そのための参考スタイルとして“歩きやすい服装”(=FUN+WALK STYLE)を発表し、男女それぞれでフォーマルスタイル、カジュアルスタイルの合計4スタイルを提案した。

◆男性フォーマルスタイル



◆女性フォーマルスタイル



◆男性カジュアルスタイル



◆女性カジュアルスタイル

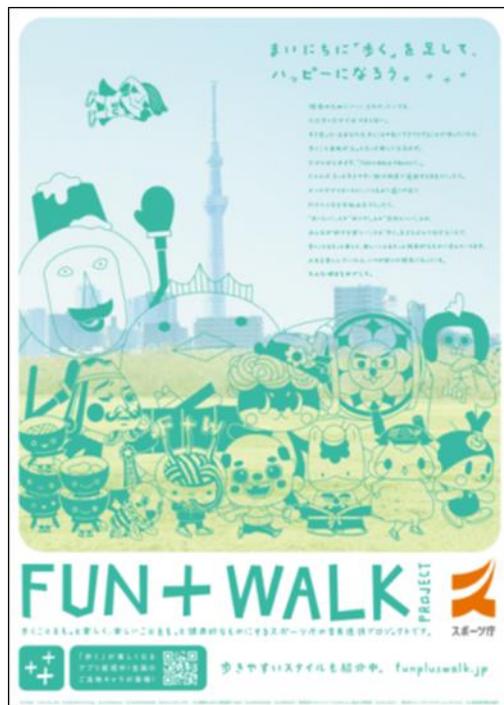


⑤プロジェクト普及用のポスターの作成及び配布

◆ポスターの作成：

- ・メインポスター B1ヨコ/B2タテ

本プロジェクトを全国的な国民運動として広く普及させるために、全国のご当地キャラクターと連携したポスターを作成した。



・キーアクションポスター B2タテ

企業内などで掲載可能な、参考となるアクションを記載したポスターを作成した。



◆ポスターの配布

メインポスター280部、キーアクションポスター263部を作成し、関係省庁や都道府県、関係団体及び推進協議会委員等を通じて配布するとともに、公式ウェブサイトからもダウンロード可能とした。

(5) プロモーション活動の実施 (メディアを通じた情報発信等)

①FUN+WALK PROJECTの発表

本プロジェクトを広く普及させるため、また2017年3月からの本格的なスタートに向け鈴木長官よりプロジェクトの発足と概要を発表。

◆日時：2017年10月2日(月)

◆場所：スポーツ庁 記者会見室

◆発表内容：

- ・プロジェクト概要
- ・プロジェクト名/目的/アクション/目標歩数/
- ・事業内容 ①事業の推進 ②企業、自治体との連携 ③プロジェクトサイトの運営
④プロジェクト普及イベントの実施 ⑤プロジェクトアプリの開発)
- ・プロジェクトスケジュール

◆記録写真：



◆メディア露出：テレビ 8 件／新聞 33 紙／WEB 200 件以上（ヤフートピックス獲得）



②トライアルデーの実施

“歩きやすい服装”での通勤により日常生活の中での「歩く」ことを意識してもらうため、トライアルデーをスポーツ庁のほか企業・自治体で実施。盛り上がり感の醸成及び“歩きやすい服装”での通勤実例をメディアを通じて情報発信した。

また、同日に FUN+WALK STYLE（参考スタイル）を発表し、公式ウェブサイトにてロゴマークの配信も開始した。

- ◆日時：2017年12月6日（水）
- ◆場所：スポーツ庁及び参加企業
- ◆記録写真：



◆トライアル参加企業・団体：

人を、想う力。街を、想う力。

【三菱地所株式会社】



- ・場所：丸ビル外構部（丸の内仲通り側）虎の彫刻前
- ・取組：従業員の健康促進のための取組として、「カラダ改善コンテスト」を2017年10月・11月の2か月間実施。脂肪量や筋肉量のほか、一日の歩数等を記録する取組で、従業員の健康意識の向上を図る中で、ウォーキングの習慣化も狙っている。
- ・取材内容：従業員への取材／担当者インタビュー



【東急電鉄株式会社】



- ・場所：本社 東京都渋谷区
- ・取組：2016年10月から「WalkBiz（ウォークビズ）」を推進。健康経営推進の一環として、従業員向けに様々な取組を行い「歩く」の習慣化に力を入れている。足元を身軽にし、ひと駅歩くことや階段を上ることで、一番長い時間を過ごす職場を運動環境に変えることを目的としている。
- ・取材内容：①WalkBiz（ウォークビズ）を実践している従業員への取材／実践社員へのインタビュー／就業風景（会議室での風景）／社屋外における移動風景
②人事担当者インタビュー



【キャスレーコンサルティング株式会社】

- ・場所：本社 東京都渋谷区恵比寿
- ・取組：毎週水曜日を「Casley Walk Biz(キャスレー・ウォークビズ)」として、全従業員に対してスニーカー、リュック、動きやすい服装での出勤を推奨している。オフィス内でも、椅子の代わりにバランスボールを使って業務を行ったり、所定のスタンディングデスクで業務を行うことで従業員の健康作りをサポートしている。
- ・取材内容：営業部門社員が取引先企業へ歩きやすい服装で訪問する様子／ナイトウォーク（会社近隣：恵比寿を散歩して帰る社内イベント）／ウォーキング・姿勢講座（正しいウォーキングや、勤務中の姿勢を学ぶ講義）／従業員への取材／担当者インタビュー



【福井県庁】

- ・時間：10:00～17:00
- ・場所：福井県福井市
- ・取組：2017年5月より、歩きやすい靴を履くことで、多忙な日常生活の中でも仕事の合間や休憩時間を利用して歩くなど、手軽に運動機会を確保することができる「スニーカービズ」を“新たな県民運動”として実施。
- ・取材内容：“歩きやすい靴での通勤”を実践している県庁職員への取材／啓発活動（庁内放送やポスター掲出など）



【奈良県立医科大学 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所】

- ・時間：13：00～15：00
- ・場所：奈良県立医科大学 学長室
- ・取組：“歩く”ことを促進するデバイス開発及び奈良県橿原市にて健康データを測定。
奈良医大MBT研究所では、少子高齢社会を快適に暮らすことができるまちづくりを目指し、本学が持つ医学的知見やノウハウをすべての産業に投入し、産業創生を行うと共に地方創生に寄与することを目的としている。
- ・取材内容：学長インタビュー／担当者インタビュー／橿原市職員との新キャンパスの歩行に適した歩道（フットパス）整備議論の様子／デバイスのデモンストレーション



◆メディア露出：テレビ 10 件／新聞 5 紙／WEB 200 件以上（ヤフートピックス獲得）



③キックオフイベント

プロジェクトの本格スタートを象徴的に演出するため、キックオフイベントを実施。

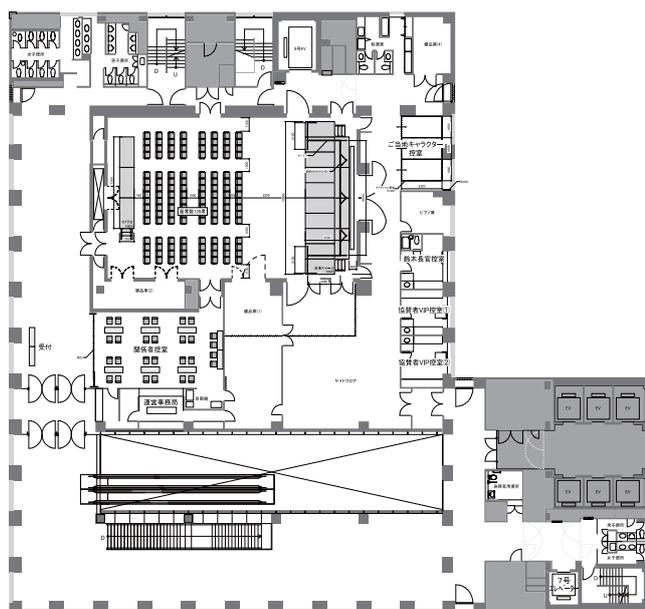
- ◆タイトル：『FUN+WALK PROJECT キックオフイベント』
- ◆日時：2018年3月1日（木） 11:00～12:00
- ◆会場：時事通信ホール（東京都中央区）
- ◆実施内容：施策概要説明／アプリ紹介／協賛企業取組紹介／フォトセッション等
- ◆登壇者：スポーツ庁長官 鈴木 大地 様
アサヒ飲料株式会社 代表取締役社長 岸上 克彦 様
アシックスジャパン株式会社 社長 小林 淳二 様
株式会社高島屋 常務執行役員 営業推進部長 岡部 恒明様
ドコモ・ヘルスケア株式会社 代表取締役社長 和泉 正幸 様
福井県健康福祉部 企画幹 岩壁 明美 様
ご当地キャラ（ぐんまちゃん／しんじょう君／ふっかちゃん）※五十音順
モデル4名
- ◆ 来場メディア数：49 媒体 71 名

【ステージ装飾】



【会場平面図】

（時事通信ホール 2 階）



◆記録写真：



◆メディア露出：テレビ1件／新聞31紙／WEB30件以上



④FUN+WALK WEEK 長官視察取材

企業内の“歩く”を促進する取組、店頭での盛り上がり感を演出するためプロジェクトの「強化週間」として、2018年3月5日（月）～18日（日）の2週間を「FUN+WALK WEEK」として設定し、「FUN+WALK WEEK」の初日に、鈴木長官による企業視察取材を実施した。

◆実施内容：

【アサヒ飲料株式会社】



時間：8時30分～10時10分

場所：アサヒグループ本社ビル（東京都墨田区）

視察内容：

- ・社員のFUN+WALK STYLEでの出社の視察（@アサヒグループ本社ビル前）
- ・岸上社長、大越執行役員による長官への取組説明（@11F 応接室）
- ・長官による社員へのインタビュー（@3F 会議室）

来場メディア：22 媒体 34 名



【株式会社高島屋】

時間：12時00分～13時15分（受付開始：11時30分）

場所：新宿高島屋タイムズスクエア（渋谷区千駄ヶ谷5丁目24番2号）

視察内容：

- ・FUN+WALK ロードの説明及び視察（@2階ペDESTリアンデッキ）
- ・紳士服売り場及び店内視察（@6階紳士服売り場）

来場メディア：16 媒体 20 名





◆メディア露出：テレビ6件／新聞33件／WEB100件以上



アサヒ飲料スニーカー通勤
大地を「素晴らしい」
スポーツ庁の鈴木大地長
官(50)が5日、東京・墨
田区のアサヒ飲料本社でス
ニーカー通勤の社員の出社
風景を視察した。この日か
ら18日までの「FUN+W
ALK プロジェクト」強
化週間に合わせたもので、
岸上克彦社長(64)から同
社が取り組む「健康チャレ
ンジ」の説明も受けた。
鈴木大地長は「社長自身がや
るのが素晴らしい。これが
さらに大きなムーブメント
になってくれれば」と話し
ていた。



「自然や季節を感じられる……」、アサヒ飲料「スニーカー通
つ」社長官が聞く
2018年3月9日



「おはようございます！」—3月5日、8時30分、東京都墨田区喜望峯にあるアサヒ飲料本社のビル正面で、鈴木大地スポーツ庁長官が、次々と出社してくる社員を出迎えた。

「駅から何分くらい(歩いて)いるのですか?」「私は二駅手で降りているので、25分くらいです」「いいですね。どれくらい残っているんですか?」「もう3か月ほど、電車と通って、自然や季節を感じられて気持ちいいです。(歩きながら)顔も整って、いいスタートを切れます」



そんな女子社員との会話が繰り返された。アサヒ飲料では今年1月から、社員の通勤不足解消のため、スニーカーでの出勤や勤務を奨励している。スポーツ庁がより多くの人に歩くことを楽しんでもらうことを目的に「FUN+WALK PROJECT」に賛同しての取り組みだ。この日は、この取組推進プロジェクトの旗振り役である岸上克彦社長が、企業における実際の取り組みを説明してきた、というわけだ。

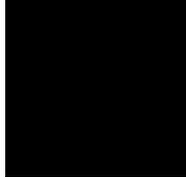


社員も出社した鈴木大地は、そのまじ11歳の応募まで期限を受けて、岸上克彦社長からも話を聞いた。「外の空気を吸いながら歩くことが健康的で、仕事も捗るはず。社員も健康に、明るく、元気に働くことが何より」と岸上社長は取り組みの意義を語る。また岸上社長が取り組んだ健康づくりを促す「アサヒ飲料 健康チャレンジ」についても説明。小中学生への乳がん検診の提供、健康チェックイベントの開催で社会の健康増進に取り組むとともに、専用アプリを開発するなどし、社員自身の健康づくりにも力を入れているという。



What's New

- ▶ TBS 産社の安東アナに南江珠緒アナ「華なる実業」
- ▶ 爆発必至の福上パフォーマンス1再編の新作、上演中



その後、鈴木大地は社員を視察。朝、出勤時に歩いてスニーカーのまま出勤する社員から話を聞いた。通勤駅から25分かけて歩いて出社している女性社員は「気持ちいいです。歩きやすいです」と、ある女性社員は「これ1年、2層上のフロアの社員との連絡は内線です。でも歩いて行って直接話を取ることが多くなりました」と話した。

この日、大企業の社員の通勤の様子を初めての姿に取材という鈴木大地は、「みなさん、2層から歩くのがいいですね。とても気持ちいいですね。これから企業のみならず手を携えて大きなムーブメントになるよう、一歩ずつ歩んでいきたい」とプロジェクトへの意気込みを語った。



Digital PR Platform

毎日の暮らしに「歩く」をプラスして「健康」になろう！高島屋はおしやわいで「歩きやすい」フアラランを提案「FUN+WALK STYLE」2018年3月5日(月)～新宿高島屋でプロモーションスタート！

株式会社高島屋は、プロジェクトの企画に賛同する関係企業とのつとして、新宿高島屋を中心に歩きたい環境での通勤スタイル「FUN+WALK STYLE」を「スクラム」や「タイムスクス」全線でプロモーション開始。プロジェクトが全国に波及するまで取り組んでいきます。

株式会社高島屋は、プロジェクトの企画に賛同する関係企業とのつとして、新宿高島屋を中心に歩きたい環境での通勤スタイル「FUN+WALK STYLE」を「スクラム」や「タイムスクス」全線でプロモーション開始。プロジェクトが全国に波及するまで取り組んでいきます。

(6) FUN+WALK PROJECT の成果

- ✓ 無理なく、取り入れやすいアクション（“歩きやすい服装” = FUN+WALK STYLE での通勤）を設定することで、本プロジェクトは比較的好意的に受け止められている。
- ✓ 2017年10月のプロジェクト発表から、トライアルデー、キックオフイベント、FUN+WALK WEEK までの施策を戦略的に実施することで、約半年間、本プロジェクトの情報を継続して発信することができた。
- ✓ その結果、2017年10月のプロジェクト発表以降、流通、自治体、シューズメーカー、百貨店などからの問い合わせがあり、本プロジェクトの普及に向け官民での連携を図ることができた。
 - ◆ 連携企業・団体の一例：
アサヒ飲料、アシックスジャパン、高島屋、ドコモ・ヘルスケア、三菱地所、東急電鉄、キャスレーコンサルティング、福井県、奈良県立医科大学、大丸松坂屋 など
- ✓ ロゴマークについては300件以上の利用申請があり、店頭POPでの活用をはじめ、プロジェクトの普及に寄与した。
- ✓ 継続的なメディア露出を獲得することで、本プロジェクトの趣旨を広く国民に伝達することができた。

(7) 今後に向けた課題

- ✓ “歩きやすい服装 (FUN+WALK STYLE)” での通勤の普及には、企業経営陣（トップ）の理解獲得、企業全体で取り組むことを推進していくことが重要である。
- ✓ 流通やアパレルメーカーなどが、販促ツールとして本プロジェクトを活用できるよう、さらなる連携の強化が必要。
- ✓ 車社会であり、都市部と比較して歩数が少ない傾向にある郊外でのプロジェクトの普及が課題である。

2. 2 好循環の創出に向けたエビデンス調査

(1) 調査の目的

FUN+WALK PROJECT の自走化、認知、普及を推し進めるため、また、プロジェクトを通じた国民の意識変容等を把握するために調査・分析を実施した。

(2) 調査の実施方法

本格的にプロジェクトが展開される、強化週間「FUN+WALK WEEK」の前後において事前調査と事後調査を行い、その比較で本プロジェクトの成果と課題を可視化する。

- ✓ 方法：インターネット調査
- ✓ 対象者：20～50代男女（メインターゲットは20～40代だが差を見るため50代も含む）
- ✓ 割付：800ss（20～50代男女、各年代100ss）

	20代	30代	40代	50代
男性	100	100	100	100
女性	100	100	100	100

- ✓ 実施日時：事前調査＝2018年2月14、15日
事後調査＝2018年3月17、18日
- ✓ 主な質問項目と言葉の定義
 - ・「FUN+WALK PROJECT」の認知度（このプロジェクトを知っているか）
 - ・「FUN+WALK PROJECT」の参加意向（プロジェクトの説明を見て、歩きたいと思ったか）
 - ・「歩きやすい服装での通勤」の浸透度
（通勤時間等を利用して「歩く」ことを促進するため「歩きやすい服装」が推奨されていることを知っているか）
 - ・「FUN+WALK PROJECT」実施による行動変化
（新たに「ウォーキング」を趣味として始めた／以前よりも「歩く」量が増えたなど）
 - ・「FUN+WALK PROJECT」実施による意識行動
（「歩く」ことを意識するようになった、「歩数」を気にするようになった等）

(3) 調査集計結果

1. 調査対象者の属性

- ✓ 本調査の回答者は男性518名、女性306名、合計824名であった。各年代の内訳は下表のとおり。対象者の居住地については、首都圏・関西圏が414名、その他が410名とほぼ同数であった。

	20代	30代	40代	50代	合計
男性	82	135	164	137	518
女性	68	77	88	73	306
合計	150	212	252	210	824

2. 「FUN+WALK PROJECT」の認知

あなたは、「FUN+WALK PROJECT」をご存知ですかという質問について、「内容まで知っている」又は「名前は聞いたことがある」と回答した者（認知者）は事前調査で7.7%、事後調査では9.4%であった。事後調査の男性20-30代における認知者は10%半ばで他年代と比べて高かった。一方で女性40-50代は事前・事後調査ともにほとんど認知者がおらず、「FUN+WALK PROJECT」という名称の認知が不足していることが示唆された。

【事前調査】

【事後調査】

	n	事前調査			注1 (%)	n	事後調査			注1 (%)
		内容まで知っている (%)	名前は聞いたことがある (%)	知らない (%)			内容まで知っている (%)	名前は聞いたことがある (%)	知らない (%)	
全体	824	1.2	6.5	92.3	7.7	824	1.9	7.5	90.6	9.4
性別										
男性	517	1.7	7.8	90.6	9.4	517	2.8	8.9	88.3	11.7
女性	307	0.4	3.3	95.2	4.8	307	0.3	5.1	94.4	5.6
性年代										
男性20代	82	6.8	13.6	79.6	20.4	82	3.9	11.7	84.5	15.5
男性30代	135	1.0	10.7	88.3	11.7	135	2.9	10.7	86.4	13.6
男性40代	164	1.0	5.8	93.2	6.8	164	2.9	7.8	89.3	10.7
男性50代	137	0.0	3.9	96.1	3.9	137	1.9	6.8	91.3	8.7
女性20代	68	1.9	6.8	91.3	8.7	68	1.0	8.7	90.3	9.7
女性30代	77	0.0	5.8	94.2	5.8	77	1.0	7.8	91.3	8.7
女性40代	88	0.0	3.9	96.1	3.9	88	0.0	1.0	99.0	1.0
女性50代	73	0.0	1.0	99.0	1.0	73	0.0	3.9	96.1	3.9
居住地										
首都圏・関西圏	414	0.5	8.7	90.8	9.2	406	1.6	7.6	90.8	9.2
その他	410	1.8	4.3	93.8	6.2	418	2.2	7.4	90.4	9.6
運動										
1年以内実施あり	599	1.6	8.6	89.7	10.3	632	2.5	8.3	89.2	10.8

※注1 = 「内容まで知っている」「名前は聞いたことがある」の回答者 = 認知者

4. 「歩きやすい服装での通勤」浸透度

「FUN+WALK PROJECT」では、通勤時間等を利用して「歩く」ことを促進するため「歩きやすい服装（服や靴、靴なども含む）での通勤」を提案しています。あなたはこの取組をご存知ですか、との質問に対し、「知っていて働いている会社で実践したことがある」「ニュースなどで取り上げられているのを見聞きしたことがある」と回答した人の割合は、事前調査全体で15.9%、事後調査は17.8%であった。事後調査における浸透度は男性20-40代で20%半ばと、全体の中で高い傾向にあったが、男性50代、女性40-50代ではやや低かった。

【事前調査】

【事後調査】

	n	事前調査				n	事後調査				n	事前調査		n	事後調査	
		知っていて、働いている会社で実践したことがある	ニュースなどで取り上げられているのを見聞きしたことがある	聞いたことはある気がする	知らない		知計 (%)	注3 (%)	知計 (%)	注3 (%)		知計 (%)	注3 (%)			
全体	824	4.1 1.1	10.7	84.1		5.2	15.9	6.9	17.8	824	5.1 1.8	10.9	82.2		6.9	17.8
性別																
男性	517	4.2 0.7	11.6	82.5		5.9	17.5	9.2	20.7	517	2.7 0.6	11.4	79.3		9.2	20.7
女性	307	4.0 0.0	9.1	86.9		4.0	13.1	3.1	13.0	307	2.6 0.4	10.0	87.0		3.1	13.0
性年代																
男性20代	82	5.8 0.8	8.7	13.6	71.8	14.6	28.2	13.6	24.3	82	2.9 0.7	10.7	10.7	75.7	13.6	24.3
男性30代	135	6.8 2.9	13.6	76.7		9.7	23.3	9.7	23.3	135	2.9 0.8	6.8	13.6	76.7	8.7	23.3
男性40代	164	1.0 0.9	0.7	89.3		1.0	10.7	8.7	24.3	164	2.9 0.9	5.8	15.5	75.7	8.7	24.3
男性50代	137	2.9 0.0	10.7	86.4		2.9	13.6	6.8	11.7	137	4.9 1.9	4.9	88.3		6.8	11.7
女性20代	68	3.9 0.0	13.6	82.5		3.9	17.5	3.9	19.4	68	1.9 0.0	15.5	80.6		3.9	19.4
女性30代	77	3.9 0.0	8.7	87.4		3.9	12.6	4.9	13.6	77	4.9 0.0	8.7	86.4		4.9	13.6
女性40代	88	5.8 0.0	8.7	85.4		5.8	14.6	1.0	8.7	88	1.0 0.0	0.8	91.3		1.0	8.7
女性50代	73	1.9 0.0	0.8	92.2		1.9	7.8	2.9	11.7	73	2.9 0.0	0.8	88.3		2.9	11.7
居住地																
首都圏・関西圏	414	4.0 1.7	12.1	83.5		4.4	16.5	8.7	18.0	414	1.6 3.2	9.3	82.0		8.7	18.0
その他	410	1.7 1.7	9.2	84.8		6.0	15.2	5.2	17.7	410	2.0 5.0	12.4	82.3		5.2	17.7

※注3 = 「知っていて働いている会社で実践したことがある」「ニュースなどで取り上げられているのを見聞きしたことがある」の回答者=浸透度

5. 公式サイト浸透度 ※事後調査のみ

「FUN+WALK PROJECT」のホームページをご覧になったことがありますか、という質問について「見たことがある」と回答した人は全体で5.3%、FUN+WALK PROJECT 認知者では18.4%であった。

		n	■ 見たことがある	□ 見たことはない
			(%)	
【事後調査】全体		824	5.3	94.7
性別	男性	517	6.6	93.4
	女性	307	3.0	97.0
性年代	男性20代	82	9.7	90.3
	男性30代	135	7.8	92.2
	男性40代	164	4.9	95.1
	男性50代	137	5.8	94.2
	女性20代	68	1.0	99.0
	女性30代	77	2.9	97.1
	女性40代	88	3.9	96.1
居住地	首都圏・関西圏	406	6.1	93.9
	その他	418	4.5	95.5
運動	1年以内実施あり	632	6.6	93.4
F+W活動	いずれか認知	237	18.4	81.6

※F+W=FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知=F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

6. FUN+WALK PROJECT 新聞広告・ポスター認知 ※事後調査のみ

あなたは、新聞広告やポスター・チラシ（質問において提示）をご覧になったことがありますか、という質問に対し、「確かに見た」「見た気がする」と回答した人の割合は全体で 8.5%、男性 20-40 代は 10%台と比較的高めであった。一方で女性 20 代と 40 代では「確かに見た」「見た気がする」と回答した人の割合はそれぞれ 2.9%と 1.0%であり、ほとんど認知されていない。

※新聞広告＝自主事業として 3 月 5 日に朝日新聞 15 段を出稿

			■ 確かに見た ■ 見た気がする □ 見た覚えはない			認知計 (%)
		n	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> ■ 確かに見た ■ 見た気がする □ 見た覚えはない </div>			(%)
【事後調査】全体		824	1.8	6.7	91.5	8.5
性別	男性	517	2.6	8.9	88.5	11.5
	女性	307	0.5	3.1	96.4	3.6
性年代	男性20代	82	4.9	8.7	86.4	13.6
	男性30代	135	3.9	7.8	88.3	11.7
	男性40代	164	1.0	11.7	87.4	12.6
	男性50代	137	1.9	6.8	91.3	8.7
	女性20代	68	0.0	2.9	97.1	2.9
	女性30代	77	1.9	4.9	93.2	6.8
	女性40代	88	0.0	1.0	99.0	1.0
	女性50代	73	0.0	3.9	96.1	3.9

7. 「FUN+WALK WEEK」認知 ※事後調査のみ

「FUN+WALK PROJECT」では、国民全体で「歩く」ことを促進する「強化週間」として、3月5日(月曜日)～18日(日曜日)の2週間を「FUN+WALK WEEK」とし、「歩きやすい服装」(FUN+WALK STYLE)での通勤など、様々なシーンで「歩く」ことを推奨するキャンペーンを実施しています。あなたは、この「FUN+WALK WEEK」のことをご存知ですか、という質問に対し、「知っていて、この期間に積極的に「歩く」ことを心がけた」「ニュースなどで取り上げられているのを見聞きしたことがある」「聞いたことはある気がする」と回答した人の割合は全体で12.0%であり、「知っていて、この期間に積極的に「歩く」ことを心がけた」「ニュースなどで取り上げられているのを見聞きしたことがある」と回答した人の割合は5.3%であった。共に男性20代が高い傾向であった。

		■ 知っていて、この期間に積極的に「歩く」ことを心がけた。 ■ ニュースなどで取り上げられているのを見聞きしたことがある □ 聞いたことはある気がする ■ 知らない				5.3	12.0	
		n				7.0	14.2	
		n				2.3	8.5	
		n				10.7	20.4	
		n				7.8	14.6	
		n				4.9	13.6	
		n				6.8	10.7	
		n				2.9	10.7	
		n				5.8	11.7	
		n				-	3.9	
		n				1.0	8.7	
		n				6.5	11.7	
		n				4.1	12.4	
		n				6.4	13.1	
		n				18.4	41.9	
	【事後調査】全体	824	1.4	3.9	6.8	88.0	5.3	12.0
性別	男性	517	2.0	5.0	7.1	85.8	7.0	14.2
	女性	307	2.1	0.2	6.2	91.5	2.3	8.5
性年代	男性20代	82	2.9	7.8	9.7	79.6	10.7	20.4
	男性30代	135	3.9	3.9	6.8	85.4	7.8	14.6
	男性40代	164	1.0	3.9	8.7	86.4	4.9	13.6
	男性50代	137	1.0	5.8	3.9	89.3	6.8	10.7
	女性20代	68	0.0	2.9	7.8	89.3	2.9	10.7
	女性30代	77	1.0	4.9	5.8	88.3	5.8	11.7
	女性40代	88	0.0	0.3	3.9	96.1	-	3.9
	女性50代	73	1.0	0.0	7.8	91.3	1.0	8.7
居住地	首都圏・関西圏	406	1.5	5.0	5.2	88.3	6.5	11.7
	その他	418	1.3	2.9	8.3	87.6	4.1	12.4
運動	1年以内実施あり	632	1.8	4.7	6.6	86.9	6.4	13.1
F+W活動	いずれか認知	237	4.8	13.7	23.5	58.1	18.4	41.9

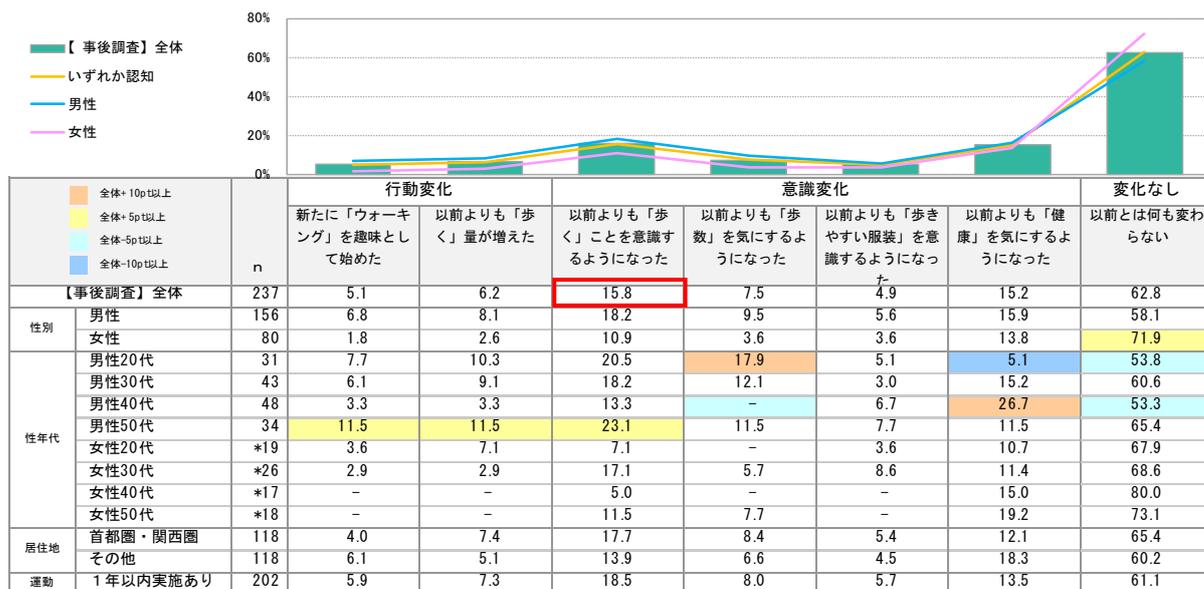
※F+W=FUN+WALK PROJECTの略称

※いずれか認知=F+Wの取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

8. プロジェクト実施による意識変化・行動変化（複数回答）

※事後調査のみ／プロジェクト認知者ベース

「FUN+WALK PROJECT」の様々な取組（HP や新聞広告・ポスター、「FUN+WALK WEEK」等）が2018年3月から具体的にスタートしたことで、あなたの日常に何か変化がありましたか。あてはまるものをすべてお選びください、という質問に対し、FUN+WALK PROJECT 認知者のうち、新たに「ウォーキング」を趣味として始めた／以前よりも「歩く」量が増えた／以前よりも「歩く」ことを意識するようになった／以前よりも「歩数」を気にするようになった、のいずれかに回答した人は全体で37.2%（「変化なし」と回答した人以外の割合）であった。以前よりも「歩く」ことを意識するようになった、と回答した人は全体で15.8%であった。



※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

9. ウォーキング促進施策案の検討（事前調査の自由回答）

どのような取組や環境があれば、歩きたくなると思いますか、という質問に対し「ポイント・値引の特典」「ご褒美／景品／何かもらえる」といった回答が上位となった。

順位	項目	n
1	ポイント・値引の特典	74
2	ご褒美／景品／何かもらえる	68
3	ウォーキング用道路・遊歩道・散歩道／安全な・歩きやすい環境	63
4	時間・仕事にゆとりができれば	60
5	お金がもらえる	35
6	景色・街並みが良い場所	34
7	複数名・みんなに参加できる	30
8	イベント／大会の開催	24
8	自然・緑・四季を感じられる場所	24
10	お酒落な靴・服装の開発／脱スーツ／適した服装で歩ける	21
11	暖かい／温暖な気候	20
11	楽しくなれること／面白い所がある	20
13	太った・病気になったとき／ダイエット・健康になる	18
14	人との出会い・繋がりがあ	17
14	ある方・効果のレクチャー／説明／見える化	17
16	会社・組織の推奨／企画	15
16	目的がある／歩いた先でお茶や食事ができる	15
16	自分の意思・意識次第／やる気になる何か	15
19	スタンプラリー	14
19	近隣施設の充実（ジム・大きな公園など）	14
21	お金がかからない／施設が安くなる	12
21	天気の良い日	12
21	歩かざるを得ないとき／交通機関の麻痺／医者からの指示	12
24	観光・名所巡り	10
25	空気が良い／排気ガスが少ない	8
26	アプリとの運動	7
26	子どもと参加できる	7
28	ゲーム・アニメとの運動	6
28	記録・ログが残る／達成感がある	6
	その他	108
	特になし	183

【ポイント・値引の特典】

アプリと運動して、歩けば歩くほどポイントが貯まる機能があればよい。
 チェックポイントに行くポイントがもらえる
 吉野家等が実施しているような方法で歩数によってクーポン券が貰えるサービス
 保険料の減額
 歩く度にポイントたまり何かと交換出来たりするとモチベーション保てる

【ご褒美／景品／何かもらえる】

何本歩けばなにかをくれるなどご褒美があれば続きやすい
 検診の数値が改善したら何らかの恩恵を付与される
 自分にとって良い事が起きる、みたいな取組があれば嬉しくなって歩かかなと思う。
 歩数や日数によってランクが定められ、提携している企業から優待サービスやグッズがもらえる
 目的地に着くと特典がもらえるなど、歩く意欲が湧いてくるイベント、特典

【ウォーキング用道路・遊歩道・散歩道／安全な・歩きやすい環境】

ウォーキングやランニング専用道路があれば
 安全な散策コース。車や自転車が入らないことが重要。
 家のまわりはトラックの走る危険な道路が多いので、歩きやすい安全な舗道があると良いと思う
 身近にウォーキング専用のコースがあれば、歩きたくなる。
 夜中でも安心してウォーキングができる環境

【時間・仕事にゆとりができれば】

スーツでの通勤をやめて、勤務時間が短くなれば歩く時間はとれると思う。
 ブラックフライデーのような、仕事を短縮して歩く時間を確保するというような国レベルの政策。
 自分の時間が確保でき、ゆとりが出来たら
 職場から歩く日と決めて、出勤時間を遅めにするなどがあれば、歩いて出勤などがしやすくなると思う
 歩いていて楽しくなるような道、歩く時間が取れるような仕事が早く終われる日をとれること

【お金がもらえる】

金銭的なインセンティブ
 歩いても交通費が出る、歩いて来ても天気が悪かったら車で来れる、歩くことでご褒美がある
 歩きやすい靴の購入補助
 歩くほどに預金残高が増えること
 歩くポイントが貯まって換金や商品と交換できるようになる

※自由回答欄原文ママ表記

10. 健康促進イベントの実施有無

あなたの働いている会社では、従業員の運動・スポーツ実施を促進するための取組を行っていますか。実施している会社にお勤めの方は、具体的な内容もあわせてお答えください、という質問に対し、実施している、と回答した人の割合は事前調査では全体で 5.6%、事後調査では 6.2%、FUN+WALK PROJECT 認知者では 10.5%であった。FUN+WALK PROJECT による意識変容者では 15.7%と比較的高めであった。

【事前調査】

【事後調査】

		n	■実施している (%)	□実施していない (%)	n	■実施している (%)	□実施していない (%)
全体		824	5.6	94.4	824	6.2	93.8
性別	男性	517	6.0	94.0	517	7.8	92.2
	女性	307	4.9	95.1	307	3.4	96.6
性年代	男性20代	82	11.7	88.3	82	7.8	92.2
	男性30代	135	2.9	97.1	135	9.7	90.3
	男性40代	164	5.8	94.2	164	8.7	91.3
	男性50代	137	5.8	94.2	137	4.9	95.1
	女性20代	68	6.8	93.2	68	3.9	96.1
	女性30代	77	6.8	93.2	77	4.9	95.1
	女性40代	88	1.9	98.1	88	3.9	96.1
	女性50代	73	4.9	95.1	73	1.0	99.0
居住地	首都圏・関西圏	414	4.7	95.3	406	5.9	94.1
	その他	410	6.5	93.5	418	6.4	93.6
運動	1年以内実施あり	599	7.3	92.7	632	7.2	92.8
F+W 活動	いずれか認知	-	-	-	237	10.5	89.5
F+W 態度 変容	行動変化	-	-	-	*23	37.0	63.0
	意識変化	-	-	-	75	15.7	84.3
	変化なし	-	-	-	149	6.0	94.0

※F+W 意識変容者=⑧で FUN+WALK PROJECT の取組により、意識変化を起こした人

※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

11. 健康促進イベントの実施内容（事後調査）

10.で「実施している」と回答した人に、働いている会社での具体的な健康増進イベントについてたずねたところ、福利厚生であるスポーツジムなどの補助金や、社長からの金一封など、金銭的なサポートに伴う参加が多くみられた。また、会社として「歩くこと」を推奨しているケースも散見された。

回答内容
・ ダイエット企画で期限を決めて目標体重を達成すれば社長から金一封が出る
・ トレーニングジムの割引券
・ フットサル
・ フットサルチームがある
・ フットサルなどのコート代補助金で、社員のコミュニケーションアップなどの意図
・ フットサル大会
・ ボウリング、フットサル
・ ボーリング大会
・ マラソン
・ マラソン等のスポンサーになったり、会社が主催する体育大会がある
・ メタボ診断が出ると、スポーツクラブ費補助
・ ラジオ体操
・ ランニング、ヨガ
・ ランニングマシン
・ レクリエーションによる球技大会
・ レクリエーション
・ 運動教室の開催
・ 運動週間
・ 会社ではないが、健康保険組合が年 1 回健康キャンペーンを行なっている
・ 各種スポーツ大会
・ 簡単なジムがある
・ 協会のイベント案内、参加
・ 健康増進活動
・ 仕事前の体操
・ 始業前にラジオ体操を実施している

12. 健康状態

あなたは、このところ健康だと思いますか、という質問に対して、事後調査では全体で80.5%が「健康である」もしくは「どちらかといえば健康である」と回答し、事前調査、事後調査で大きな差は見られなかった。また、男性20代では事前調査、事後調査ともに、「健康である」もしくは「どちらかといえば健康である」と回答した人の割合は比較的高い傾向にあった。

【事前調査】

【事後調査】

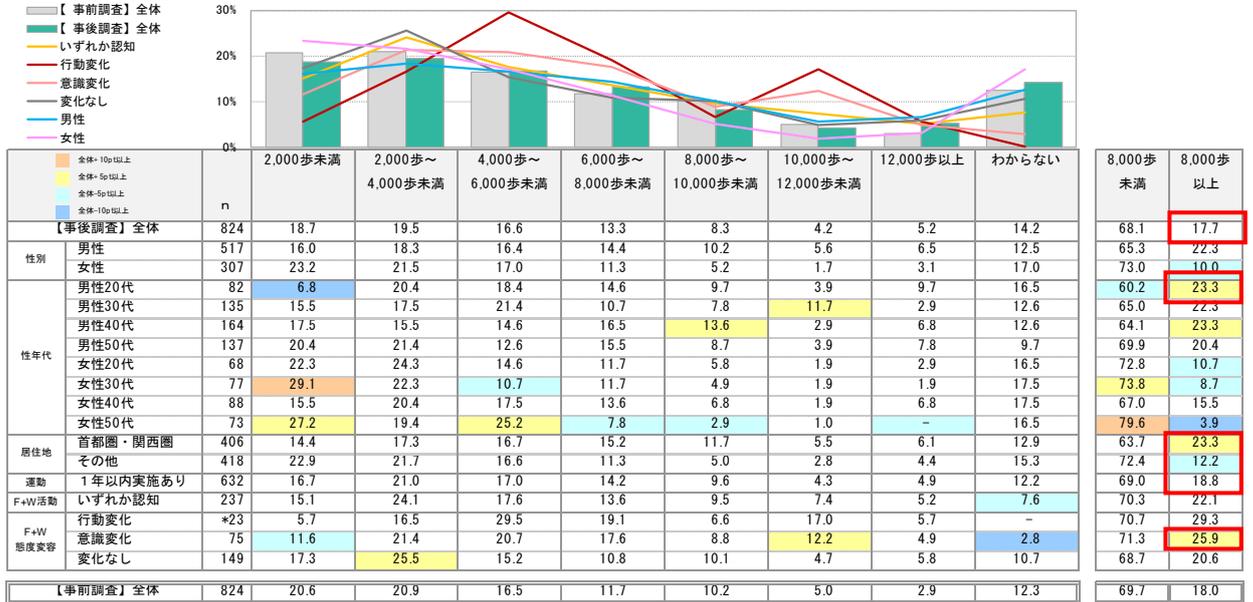
	n	注4 (%)				注4 (%)
		健康である	どちらか といえば 健康である	どちらか といえば 健康でない	健康でない わからない	
全体	824	26.7	52.9	14.3	4.5	79.6
性別						
男性	517	27.9	52.4	14.0	3.8	80.3
女性	307	24.7	53.7	14.7	5.1	78.4
性年代						
男性20代	82	36.9	51.5	6.8	2.9	88.3
男性30代	135	26.2	52.4	16.5	2.9	78.6
男性40代	164	26.2	55.3	12.6	4.9	81.6
男性50代	137	26.2	49.5	17.5	3.9	75.7
女性20代	68	28.2	51.5	14.6	3.9	79.6
女性30代	77	27.2	52.4	15.5	4.0	79.6
女性40代	88	20.4	58.3	12.6	6.8	78.6
女性50代	73	24.3	51.5	16.5	6.8	75.7
居住地						
首都圏・関西圏	414	27.8	50.9	14.4	4.2	78.8
その他	410	25.6	54.9	14.2	4.2	80.5
運動						
1年以内実施あり	599	29.1	53.5	13.8	2.2	82.6
F+W 活動						
いずれか認知	-	-	-	-	-	-
F+W 態度 実容						
行動変化	-	-	-	-	-	-
意識変化	-	-	-	-	-	-
変化なし	-	-	-	-	-	-

※注 4=「健康である」「どちらかといえば健康である」の回答者

※F+W=FUN+WALK PROJECT の略称

13. 普段の歩数

あなたは普段、1日あたり平均してどのくらい歩いていますか（1,000歩=10分としてお考えください）、という質問に対し、1日の平均歩数が「8,000歩以上」の人は事前調査の全体で18.0%に対し、事後調査の全体では17.7%と大きな変動はなかった。首都圏・関西圏の居住者の「8,000歩以上」と回答した人の割合は23.3%で、地方の12.2%に比べて高かった。FUN+WALK PROJECTによる意識変容者の「8,000歩以上」と回答した人は25.9%と全体比で高めであった。



※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

14. 運動不足実感

あなたは普段、運動不足を感じますか、という質問に対し、「大いに感じる」または「ある程度感じる」と回答した人の割合は、事前調査で 84.1%、事後調査では 85.3%であった。事前調査、事後調査ともに女性 20-30 代は 90%割以上が「大いに感じる」または「ある程度感じる」と回答しており、全体比で高めであった。

【事前調査】

【事後調査】

属性	n	【事前調査】					注5 (%)	【事後調査】					注5 (%)	
		大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど(全く)感じない	わからない		大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど(全く)感じない	わからない		
全体	824	47.4	36.6	10.8	3.8	2.4	84.1	44.2	41.1	9.8	3.8	2.1	85.3	
性別														
男性	517	44.3	36.7	13.8	4.1	1.1	81.0	43.2	40.1	11.1	4.0	1.5	83.2	
女性	307	52.7	36.5	5.9	6.3	0.3	89.2	46.0	42.9	7.6	2.5	0.0	88.9	
性年代														
男性20代	82	33.0	42.7	18.4	3.9	2.9	75.7	28.2	40.8	21.4	7.8	1.9	68.9	
男性30代	135	53.4	32.0	9.7	3.8	0.7	85.4	41.7	42.7	10.7	4.0	0.9	84.5	
男性40代	164	44.7	39.8	11.7	2.8	0.9	84.5	46.6	41.7	6.8	2.9	0.9	88.3	
男性50代	137	41.7	34.0	17.5	5.8	0.7	75.7	49.5	35.0	10.7	4.0	0.8	84.5	
女性20代	68	53.4	37.9	3.9	4.0	0.0	91.3	40.8	50.5	4.2	4.0	0.0	91.3	
女性30代	77	60.2	32.0	4.9	1.0	0.0	92.2	53.4	41.7	2.4	2.5	0.0	95.1	
女性40代	88	51.5	35.9	6.8	3.9	0.9	87.4	40.8	43.7	9.7	4.8	0.0	84.5	
女性50代	73	45.6	40.8	7.8	3.9	0.9	86.4	49.5	35.9	12.6	11.0	0.0	85.4	
居住地														
首都圏・関西圏	414	45.7	36.7	12.9	3.6	1.1	82.4	41.3	41.4	11.0	5.1	1.1	82.7	
その他	410	49.2	36.6	8.7	4.2	1.3	85.8	47.0	40.8	8.7	2.0	1.5	87.9	
運動														
1年以内実施あり	599	41.1	41.2	12.5	4.6	0.6	82.3	41.8	43.1	10.6	4.0	0.5	84.9	
F+W 活動														
いずれか認知	-						-	237	38.7	45.1	10.5	4.7	0.0	83.8
F+W 態度変化								*23	46.5	53.5	0.0	0.0	100.0	
F+W 意識変化								75	37.0	45.7	11.6	5.0	0.0	82.7
F+W 変化なし								149	38.8	44.1	10.9	4.6	0.5	82.9

※注5 = 「大いに感じる」「ある程度感じる」の回答者

※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

15. 直近1年に実施した運動

この1年間に実施した運動・スポーツをすべてお答えください（職業として実施したものは除いてお考えください）、という質問に対し、いずれかの運動・スポーツあり、と回答した人の割合は事前調査の全体で72.7%、事後調査では76.8%と微増していた。性年代別では男性が女性と比べて各年代とも実施率が高かった。FUN+WALK PROJECT 認知者では85.5%がいずれかの運動・スポーツをしたと回答しており、全体と比べて高かった。

【事前調査】

【事後調査】

		n	■ 全体+10p以上 ■ 全体+5p以上 ■ 全体-5p以上 ■ 全体-10p以上		
		n	■ いずれか運動・スポーツあり ■ 運動やスポーツはしなかった ■ わからない		
			n (%)		
全体		824	72.7	23.3	4.0
性別	男性	517	76.0	20.5	3.5
	女性	307	67.0	28.0	5.0
性年代	男性20代	82	84.5	10.7	4.9
	男性30代	135	76.7	20.4	2.9
	男性40代	164	73.8	23.3	2.9
	男性50代	137	72.8	23.3	3.9
	女性20代	68	77.7	20.4	1.9
	女性30代	77	68.9	24.3	6.8
	女性40代	88	62.1	32.0	5.8
	女性50代	73	61.2	34.0	4.9
居住地	首都圏・関西圏	414	74.0	21.4	4.6
	その他	410	71.3	25.2	3.5
運動	1年以内実施あり	599	100.0	0.0	
F+W活動	いずれか認知	-			
F+W態度変容	行動変化	-			
	意識変化	-			
	変化なし	-			

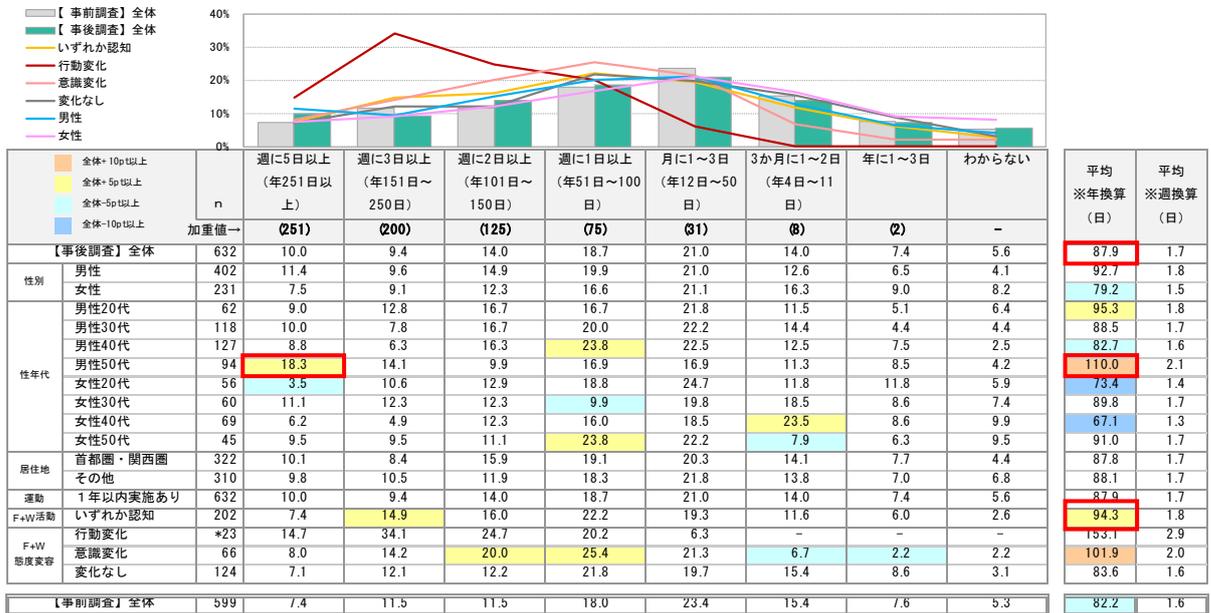
		n	■ いずれか運動・スポーツあり ■ 運動やスポーツはしなかった ■ わからない		
			n (%)		
全体		824	76.8	17.8	5.5
性別	男性	517	77.6	16.6	5.8
	女性	307	75.3	19.8	4.9
性年代	男性20代	82	75.7	16.5	7.8
	男性30代	135	87.4	7.8	4.9
	男性40代	164	77.7	18.4	3.9
	男性50代	137	68.9	23.3	7.8
	女性20代	68	82.5	11.7	5.8
	女性30代	77	78.6	17.5	3.9
	女性40代	88	78.6	19.4	1.9
	女性50代	73	61.2	30.1	8.7
居住地	首都圏・関西圏	406	79.4	17.2	3.5
	その他	418	74.2	18.4	7.4
運動	1年以内実施あり	632	100.0	0.0	
F+W活動	いずれか認知	237	85.5	9.1	5.5
F+W態度変容	行動変化	*23	100.0	0.0	
	意識変化	75	87.4	9.8	2.8
	変化なし	149	83.2	9.5	7.3

※F+W=FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知=F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

16. 直近1年間の運動実施頻度 ※1年以内運動ありベース

この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか、という質問に対し、事後調査における年間の平均運動日数は「87.9日」であった。男性50代は「週に5日以上」と回答した人が最も多く、平均も「110.0日」と高かった。FUN+WALK PROJECT いずれか認知者は平均「94.3日」と全体比で若干高めであった。

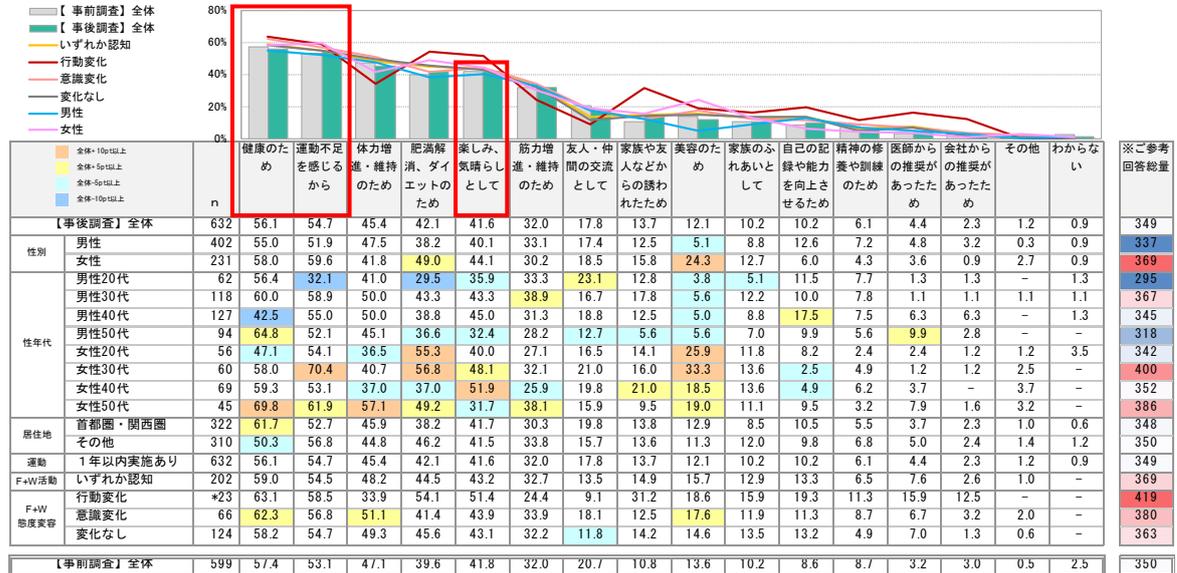


※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

17. 直近1年間の運動実施目的（複数回答） ※1年以内運動ありベース

この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか、という質問に対し、この1年間に運動やスポーツを実施した人の運動実施の目的は、全体で「健康のため」「運動不足を感じるから」が上位であった。「楽しみ、気晴らしとして」と回答した人の割合は事前調査で41.8%、事後調査で41.6%だった。女性30代は「運動不足」「肥満解消」「美容」、女性50代は「健康」「体力増進」がそれぞれ高いほか、複数の目的をもって取り組んでいる様子が見えてきた。

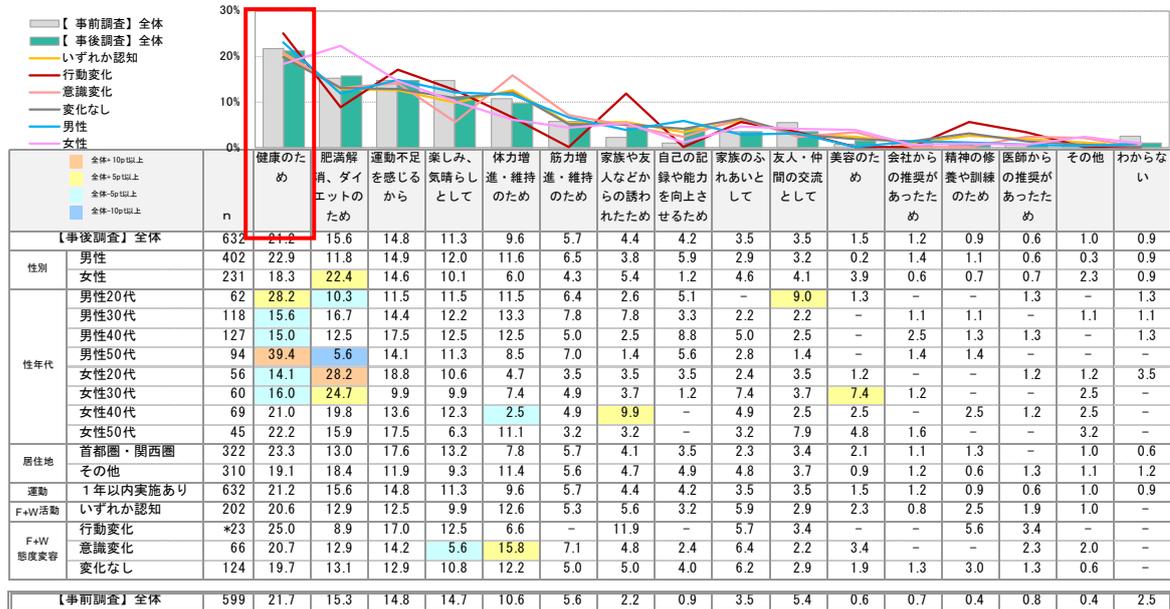


※F+W=FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知=F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

18. 直近1年運動実施目的（最も大きな理由） ※1年以内運動ありベース

運動を実施した理由の中で、最も大きな理由では「健康のため」が全体でトップであった。その他で「肥満解消」「運動不足」が上位。女性 20-30 代は「肥満解消」が「健康のため」と逆転しており、全体傾向との意識差が伺えた。



※F+W=FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知=F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

19. 運動実施状況と今後の予定

運動・スポーツについて、現在の実施状況と今後の予定についてお答えください、という質問に対し、「現在運動・スポーツをしていないが、6か月以内に始めようと思っている」と回答した人の割合は事前調査全体で18.8%、事後調査全体では21.4%であり微増した。FUN+WALK PROJECT 認知者は25.7%とやや高いであった。

【事前調査】

【事後調査】

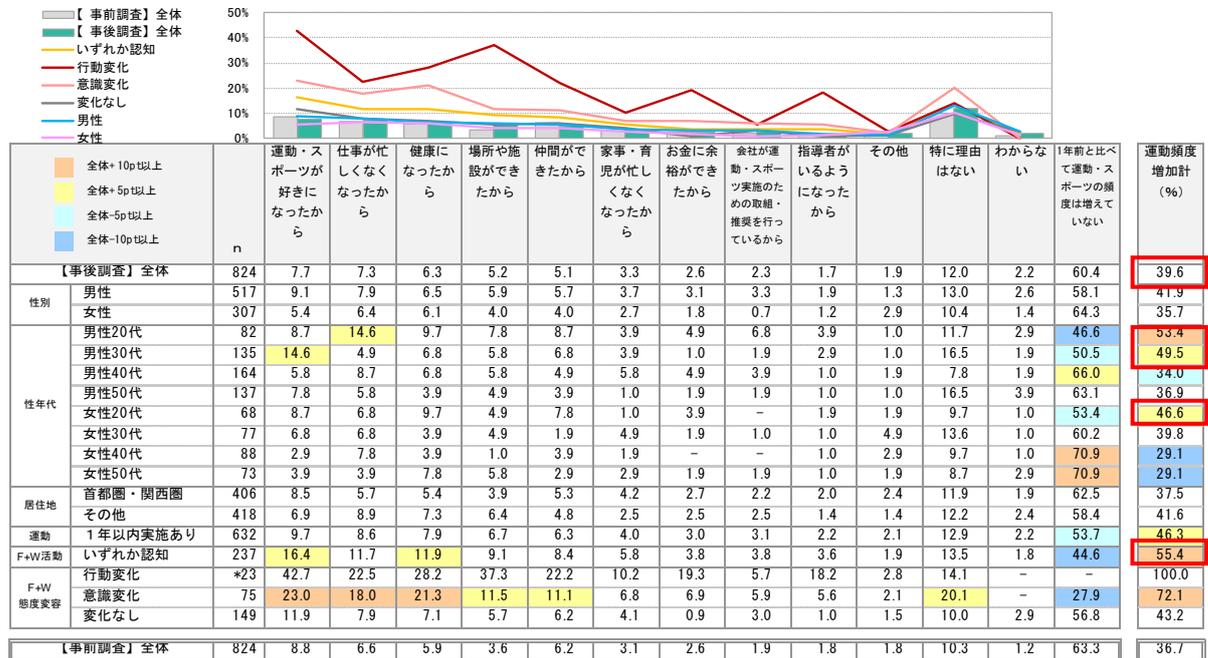
属性	n	【事前調査】					現運動あり計 (%)	【事後調査】					現運動あり計 (%)	
		現在定期的 に運動・ス ポーツをし ている (%)	現在定期的 に運動・ス ポーツをし ていないが、 6か月以内 に始めよう と思っている (%)	現在運動・ス ポーツをして いないが、定 期ではない (%)	現在運動・ス ポーツをして いないが、6 か月以内に 始めようと思 っていない (%)	現在運動・ス ポーツをして いないが、6 か月以内に 始めようと思 っていない (%)		現在定期的 に運動・ス ポーツをし ている (%)	現在定期的 に運動・ス ポーツをし ていないが、 6か月以内 に始めよう と思っている (%)	現在運動・ス ポーツをして いないが、定 期ではない (%)	現在運動・ス ポーツをして いないが、6 か月以内に 始めようと思 っていない (%)	現在運動・ス ポーツをして いないが、6 か月以内に 始めようと思 っていない (%)		
全体	824	27.2	3.7	20.0	18.8	30.2	50.9	26.8	4.4	20.6	21.4	26.8	51.8	
性別														
男性	517	32.3	4.0	20.9	16.2	26.6	57.2	31.1	4.1	21.4	17.3	26.0	56.7	
女性	307	18.5	3.3	18.5	23.3	36.4	40.3	19.6	4.9	19.1	28.3	28.0	43.6	
性年代														
男性20代	82	35.9	8.7	17.5	16.5	21.4	62.1	21.4	9.7	25.2	15.5	28.2	56.3	
男性30代	135	26.2	7.8	17.5	16.5	32.0	51.5	36.9	2.9	21.4	22.3	16.5	61.2	
男性40代	164	30.1	1.0	24.3	20.4	24.3	55.3	32.0	5.8	20.4	15.5	26.2	58.3	
男性50代	137	38.8	1.0	22.3	10.7	27.2	62.1	30.1	0.0	20.4	15.5	34.0	50.5	
女性20代	68	19.4	6.8	29.1	19.4	25.2	55.3	16.5	9.7	25.2	22.3	26.2	51.5	
女性30代	77	11.7	1.9	22.3	30.1	34.0	35.9	17.5	6.8	18.4	35.9	21.4	42.7	
女性40代	88	16.5	2.9	13.6	25.2	41.7	33.0	22.3	2.9	15.5	33.0	26.2	40.8	
女性50代	73	27.2	1.9	10.7	17.5	42.7	39.8	21.4	1.0	18.4	20.4	38.8	40.8	
居住地														
首都圏・関西圏	414	29.6	4.1	18.8	18.3	29.2	52.5	28.2	3.3	20.2	21.1	27.2	51.7	
その他	410	24.7	3.3	21.3	19.4	31.3	49.4	25.5	5.5	20.9	21.7	26.4	51.9	
運動														
1年以内実施あり	599	37.4	5.1	27.6	17.4	12.5	70.1	34.9	5.8	26.8	20.2	12.3	67.5	
F+W 活動														
いずれか認知	-	-	-	-	-	-	-	30.4	8.9	19.6	25.7	15.3	59.0	
F+W 態度 実容														
行動変化	-	-	-	-	-	-	-	*23	49.7	29.6	11.7	9.0	90.9	
意識変化	-	-	-	-	-	-	-	75	32.4	13.9	22.3	25.4	5.9	68.7
変化なし	-	-	-	-	-	-	-	149	28.8	3.1	19.5	27.2	21.4	51.4

※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

20. 運動増加理由（複数回答）

年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が増えましたか。増えた方は、この中からすべてお答えください、という質問に対し、1年前と比べて運動頻度が「増加」した人は事前調査全体で36.7%、事後調査では39.6%であった。男性20-30代、女性20代では50%前後と他年代に比べて高めであった。FUN+WALK PROJECT 認知者は55.4%で全体と比べて高かった。

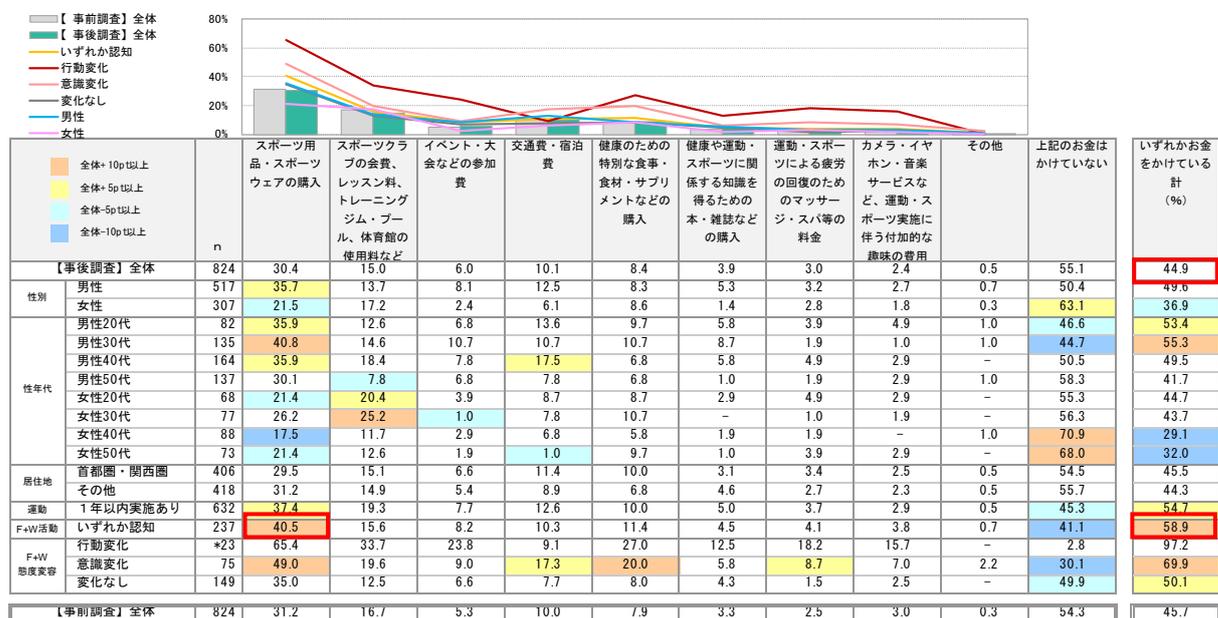


※F+W=FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知=F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

21. 運動関連消費項目（複数回答）

あなたはご自身が実施する運動・スポーツに関連して、どのようなことにお金がかかっていますか、という質問に対し、運動・スポーツ関連において、下記項目のいずれかに支出している人は事後調査全体で44.9%、男性20-30代、FUN+WALK PROJECT 認知者では50%超と高く、特に「スポーツ用品・ウェアの購入」が全体比で高い傾向にあった。



※F+W = FUN+WALK PROJECT の略称

※いずれか認知 = F+W の取組及び広報物のいずれかを認知している回答者

22. 運動関連消費金額 ※グラフは各項目支出ありベース

あなたは、運動・スポーツや、スポーツ観戦に、1か月あたり平均してどのくらい費用をかけていますか、という質問に対し、事後調査全数ベースで最も支出額が多いのは「スポーツ用品で」、買っていない人を含めた平均金額は1,765円であり、次いで「スポーツクラブの会費、レッスン料など」が1,043円と高かった。

事前調査

	n	□2,000円未満 □2,000円～ □5,000円～ □10,000円～ □15,000円～ □20,000円～ □30,000円以上 ■わからない 5,000円未満 10,000円未満 15,000円未満 20,000円未満 30,000円未満 (％)								平均(円)	平均(円)
										※全数ベース*	※支出ありベース
スポーツ用品・スポーツウェアの購入	257	36.2	25.6	19.3	5.8	4.4	1.6	6.6	1,630	5,476	
スポーツクラブの会費、レッスン料、トレーニングジム・プール、体育館の使用料など	137	29.4	13.5	29.5	13.8	2.9	3.2	5.6	1,179	7,421	
イベント・大会などの参加費	43	38.9	36.8	9.2	6.4	3.1	1.8	2.0	268	5,201	
交通費・宿泊費	83	35.2	26.6	15.3	5.1	3.7	1.9	10.3	523	5,755	
健康のための特別な食事・食材・サプリメントなどの購入	65	31.9	32.0	13.2	16.0	0.1	3.0	3.6	449	5,900	
健康や運動・スポーツに関する知識を得るための本・雑誌などの購入	*27	78.4	15.5	3.0	1.7	0.0	0.0	0.0	106	3,224	
運動・スポーツによる疲労の回復のためのマッサージ・スパ等の料金	*21	27.3	27.0	26.1	9.5	3.0	0.8	3.2	160	6,541	
カメラ・イヤホン・音楽サービスなど、運動・スポーツ実施に伴う付加的な趣味の費用	*24	36.2	44.4	6.5	6.5	0.0	6.4	0.0	106	3,822	

事後調査

	n	□2,000円未満 □2,000円～ □5,000円～ □10,000円～ □15,000円～ □20,000円～ □30,000円以上 ■わからない 5,000円未満 10,000円未満 15,000円未満 20,000円未満 30,000円未満 (％)								平均(円)	平均(円)
										※全数ベース*	※支出ありベース
スポーツ用品・スポーツウェアの購入	250	37.5	21.7	16.1	8.8	2.8	2.4	8.2	1,765	6,171	
スポーツクラブの会費、レッスン料、トレーニングジム・プール、体育館の使用料など	124	27.8	16.8	32.0	12.9	2.2	3.0	3.4	1,043	7,160	
イベント・大会などの参加費	49	29.3	27.9	15.5	9.1	2.7	3.9	4.8	450	7,857	
交通費・宿泊費	83	33.0	28.8	11.7	5.4	1.9	1.0	5.6	583	6,451	
健康のための特別な食事・食材・サプリメントなどの購入	69	39.4	31.3	16.7	5.2	3.3	1.3	1.3	438	5,265	
健康や運動・スポーツに関する知識を得るための本・雑誌などの購入	32	61.9	20.3	7.5	6.2	0.0	0.0	0.0	155	4,010	
運動・スポーツによる疲労の回復のためのマッサージ・スパ等の料金	*25	24.9	39.9	3.4	6.0	6.3	2.8	10.6	240	8,396	
カメラ・イヤホン・音楽サービスなど、運動・スポーツ実施に伴う付加的な趣味の費用	*20	33.6	29.4	7.4	4.0	6.7	0.0	6.7	143	6,790	

※全数ベースの平均(円)は、非支出者を算出対象に加え、かつ「0」で加重

(4) 調査結果サマリー

- ✓ 事後調査での「FUN+WALK PROJECT」の認知度は1割弱。また、「歩きやすい服装での通勤」の浸透度は「聞いたことはある気がする」という人まで含めても18%にとどまり、一般的な認知は得られていない状況である。
- ✓ アプリや各種広告の認知率も1割強であり、「FUN+WALK PROJECT」の認知や「歩きやすい服装での通勤」の浸透もその変化は微増程度であるため、3月のプロジェクトスタートによって大きな話題化まではできていない。
- ✓ ただし、認知者の中では約1割の人が「歩く」ことを増やしたり、始めたりといった実際の行動変化を起こしており、約4割の人が意識変化を起こしているため、プロジェクトによる行動・意識変化の喚起は確認できた。
- ✓ プロジェクト内容の説明を聞いた後で「歩きたい」「やや歩きたい」と回答した人は4割以上存在しており、プロジェクトの周知次第では「歩く」ことが広がる可能性は高い。

(5) 調査結果から得られた課題、取り組むべき事項

- ✓ 事後調査の結果、特に女性20～30代の参加意向が高いが、実際の各種施策の認知度ではこの層の認知率が低いことから、女性に向けたアプローチの検討が必要。
- ✓ 一方で、女性20～30代に限らず全体的なプロジェクト周知の底上げが必要なフェーズであるため、広く周知を図るアプローチを継続することが重要

2. 3 スポーツエールカンパニー認定制度（企業による取組の奨励方策等の検討）

（1）制度創設の背景・目的

企業による従業員に対するスポーツ推進の取組の奨励方策について検討を行い、社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している企業をスポーツ推進企業（後にスポーツエールカンパニー）として認定した。その企業の取組を広く周知することで他企業への横展開を促し、ビジネスパーソンのスポーツ実施率の向上を促すとともに、従業員の健康管理を考えスポーツ実施の促進に戦略的に取り組んでいる企業の社会的評価の向上を図る。

（2）名称募集及びロゴマークの決定

①名称募集

スポーツ推進企業の名称について公募を実施し、「スポーツエールカンパニー」に決定した。

◆公募期間：2017年6月30日（金）～7月13日（木）

◆応募件数：48件

②ロゴマークの決定

以下のとおりロゴマークを決定した。



（3）スポーツエールカンパニー認定企業の募集

社員の健康増進のためスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を以下の日程で募集した。本制度は、東京都が実施する「東京都スポーツ推進企業」認定及び新潟県が実施する「グッド！スポーツカンパニー（新潟県スポーツ推進企業）」認定と連動して実施。

◆募集期間：2017年8月3日（木）～10月31日（火）

（4）認定委員会の開催

応募された企業の中から、認定企業を選定するため、認定委員会を開催した。

◆開催日時：2017年11月28日（火） 10：00～12：00

◆場所：文部科学省東館 16F3 会議室

◆認定委員（敬称略）：

岡田 邦夫	NPO 法人健康経営研究会 理事長
樋口 毅	健康経営会議実行委員会 事務局
松尾 哲矢	立教大学コミュニティ福祉学部 教授
水野 基樹	順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授
安達 栄	スポーツ庁健康スポーツ課長

(5) 認定企業の発表

認定委員会の審査により、217社を認定企業として2017年12月12日（火）に発表し、各社に以下の認定証を交付した。



平成29年度スポーツエールカンパニー募集要項

1. 事業の趣旨

スポーツ庁では、ビジネスパーソン向けにスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、本年度から、「スポーツエールカンパニー」を認定する取組を開始します。

現在、成人の週1回以上のスポーツ実施率は42.5%に留まっており、特に、20代から40代のスポーツ実施率が低くなっています。このため、これらの“働き盛り世代”が一日の大半を過ごす職場において、スポーツに親しむきっかけづくりを進めていくことが重要です。

本制度では、従業員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している企業を「スポーツエールカンパニー」として認定します。認定された企業の取組を広く周知することで、他企業への横展開を促し、ビジネスパーソンのスポーツ実施率の向上を目指すとともに、従業員の健康管理を考え戦略的に取り組んでいる企業の社会的評価の向上を図ります。

2. 申請対象

本制度における「企業」とは、社団法人、財団法人、特定非営利活動法人等を含むものとします。

なお、国内に本社又は事業所が所在することが条件となります。

3. 申請について

別紙様式について、必要事項を記入し、申請を行っていただきます。

なお、本制度は、東京都が実施する「東京都スポーツ推進企業認定制度」及び新潟県が実施する「グッド！スポーツカンパニー（新潟県スポーツ推進企業）認定制度」と連動して実施します。

したがって、東京都内又は新潟県内に事業所が所在する企業は、両都県の認定制度への申請が本制度への申請を兼ねる形となりますのでご注意ください。

4. 認定要件

本制度に申請を行い、「スポーツエールカンパニー」として認定されるためには、従業員が行うスポーツ活動に対する支援や促進に向けた取組を実施している企業であり、その取組及び企業が以下の（１）～（６）をすべて満たす必要があります。

（１）経営者をはじめ、企業全体で推進している取組であること

スポーツ推進部ホームページ「スポーツ TOKYO インフォメーション」参照のこと。

<http://www.sports-tokyo.info/company/>

② 新潟県内に所在する企業

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

新潟県県民生活・環境部県民スポーツ課企画担当

※提出方法に関する詳細については、新潟県ホームページ参照のこと。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminsports/>

③ 東京都及び新潟県以外の道府県に所在する企業

スポーツエールカンパニー認定事務局

〒104-8691

日本郵便株式会社晴海郵便局京橋分室郵便私書箱173号

スポーツエールカンパニー認定事務局 行

(2) 提出する書類

下記の用紙に必要事項を記入してください。

① 申請書（スポーツエールカンパニー認定制度実施要項様式1）

② スポーツエールカンパニー認定要件該当申告書（申請書別紙）

※取組内容が分かる社内資料（研修資料、社内アンケート、写真等）があれば、可能な限り添付してください。

※提出された取組紹介文や写真等については、企業認定発表の際や取組事例としてスポーツ庁HP等での使用が可能なものとします。

※東京都及び新潟県内に所在する企業の申請については、上記それぞれの提出先のホームページで指定されている用紙を使用してください。

6. 応募期間

平成29年8月3日（木）～10月31日（火）

7. 認定審査について

スポーツエールカンパニー認定委員会の意見を踏まえ、スポーツ庁健康スポーツ課にて審査を行い「スポーツエールカンパニー」として認定します。

※審査にあたり、追加資料の提出、説明及びヒアリング等を依頼する場合があります。

※審査の経緯や内容は非公開とします。お問合せいただいても一切お答えできません。

※申請書類の記載内容が事実と異なっていることが判明した場合は、発表後であっても

認定を取り消し、又は留保します。

8. スポーツエールカンパニーの公表等

スポーツエールカンパニーの企業名をスポーツ庁ホームページ等において公表し、認定証と認定マーク等を交付します。

9. その他

申請書類等に含まれる個人情報の取扱いに当たっては、「個人情報の保護に関する法律」その他関係法令を順守します。

10. 問合わせ

【東京都スポーツ推進企業認定制度に関する事項】

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

スポーツ推進部調整課企画調整担当 電話：03-5320-7723

【グッド！スポーツカンパニー認定制度に関する事項】

新潟県県民生活・環境部県民スポーツ課企画担当 電話025-280-5091

【スポーツエールカンパニーに関する事項】

スポーツエールカンパニー認定事務局

info@sportsyell.jp

①認定企業一覧

番号	所在地	企業名	主な取組
1	福島県郡山市	ゼビオ株式会社	従業員の健康増進のため、全国の各店舗または地域店舗共同で運動会や大縄跳び、3×3（スリーバイスリー）等のスポーツイベントを実施
2	群馬県前橋市	株式会社globeコーポレーション	ラジオ体操の実施や地域のマラソン・ウォーキングイベントへの参加
3	埼玉県越谷市	ホダカ株式会社	出勤日での社内全体でのサイクリングの実施や、自転車通勤奨励のため距離に応じた通勤ポイント制度（商品への交換）の導入
4	千葉県千葉市	株式会社ザオバ	社内トレーニングスペースの設置及び会社からのプロテイン支給、スポーツイベントへの参加推奨
5	千葉県千葉市	株式会社BlueOcean	"maemuki taiso"（オリジナルの楽曲・振り付けによる体操）の実施及び他社への出張指導
6	千葉県君津市	株式会社ベストバランス	ラジオ体操やランニングイベントを主催し、社員と地域住民が一体となって参加
7	千葉県長柄町	リソル生命の森株式会社	報奨制度を採り入れた社員向け体力測定と所有するゴルフ場を利用した健康ウォーキングの実施
8	東京都千代田区	アビームコンサルティング株式会社	社員向けにストレッチや筋トレ、ウォーキング等のセミナーや運動推進キャンペーンを実施
9	東京都千代田区	いちご株式会社	社員による部活動（フットサル、ランニング、ゴルフ）及び全役職員参加の朝礼にてストレッチ運動の実施
10	東京都千代田区	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	被災地支援を目的としたスポーツイベント参加時に利用できる休暇と活動費の利用促進、約30に及ぶ社内クラブ活動の支援
11	東京都千代田区	S M B C 日興証券株式会社	社員向け障害者スポーツ体験会やフットサル大会を開催、また各地チャリティラン・ウォークへ社員が参加者とボランティアの両面から参加
12	東京都千代田区	株式会社NTTドコモ	スマートフォンやウェアラブル機器で歩数を計測し、個人やチームごとに競い合う「歩こうキャンペーン」の実施
13	東京都千代田区	大塚製薬株式会社	週一回のオフィス内体操や運動プログラムの実施、日常の運動推奨、社内サークルのサポートやスポーツイベントへの社員の参加促進等
14	東京都千代田区	オントフ株式会社	階段利用の促進、朝の体操を実施
15	東京都千代田区	株式会社かんぼ生命保険	各部署におけるラジオ体操・みんなの体操の実施と取組支援
16	東京都千代田区	協和発酵キリン株式会社	スタンディングワーク・ミーティング、ラジオ体操の実施や本社大運動会の開催
17	東京都千代田区	株式会社久慈設計 東京支社	ラジオ体操や、社内スポーツレクリエーション（ゴルフ、ボウリング、街なみウォーキング等）の実施
18	東京都千代田区	KNT-CTホールディングス株式会社	東京マラソンやウォーキング・フットボール大会、ポッチャ大会等へ社員が競技者と大会運営の両面から参加
19	東京都千代田区	JXTGエネルギー株式会社	社員や家族が参加するブラインドサッカー等の障害者スポーツ体験会や、社内レクリエーションの一環でポッチャ大会を開催
20	東京都千代田区	信号器材株式会社 東京本社	卓球大会への参加と大会運営
21	東京都千代田区	株式会社セブン銀行	社員の健康増進、一体感の醸成、コミュニケーションの活性化を目的に、駅伝大会へ参加（2006年より）
22	東京都千代田区	第一生命保険株式会社	「健康第一アプリ」によるウォーキング支援やオフィスでの朝礼時の体操、社員参加のソフトボール大会を実施
23	東京都千代田区	TANAKAホールディングス株式会社	従業員の身体を動かすイベントの企画・実施、障害者スポーツの体験会等
24	東京都千代田区	株式会社つなひろワールド	社員に競技用車椅子を1台支給し、社員全員で車椅子ソフトボールの大会へ参加
25	東京都千代田区	帝人株式会社	帝人グループ健康ウォーキングの実施のほか、従業員クラブ活動支援、職場でのラジオ体操を実施
26	東京都千代田区	東京海上日動火災保険株式会社	社内障害者スポーツ体験会の実施、また、社内に簡易ポッチャコートを設置し、社員有志がポッチャ部として活動
27	東京都千代田区	日本写真判定株式会社	ラジオ体操（オリジナル映像）の実施、階段の利用促進、自転車サークル活動の活動支援
28	東京都千代田区	日本生命保険相互会社	毎朝のフィットネスの実施や、社員向け障害者スポーツ体験会、運動会、ソフトボール大会を開催

番号	所在地	企業名	主な取組
29	東京都千代田区	日本郵船株式会社	社員の健康増進と社会貢献活動のためチャリティ皇居RUN+WALKを実施（参加者の総周回数に応じた金額を寄付）
30	東京都千代田区	野村ホールディングス株式会社	障がい者スポーツ体験会の実施と児童養護施設でのスポーツ大会開催
31	東京都千代田区	株式会社バソナグループ	UNDOKAI World Cupの実施や、社員が企画し社員が参加するスポーツイベントの開催、ウォーキングコミュニティの活動等
32	東京都千代田区	株式会社ベネフィット・ワン	企業対抗スポーツ大会の運営・参加、健康ポイントを用いた従業員向け健康増進イベントの実施
33	東京都千代田区	堀江車輛電装株式会社	障害者と健常者のフットサルチームにおける活動へ社員が参加（練習・東京都フットサルリーグへの参加）
34	東京都千代田区	株式会社みずほフィナンシャルグループ	社員スポーツイベント（フットサル大会）の実施や、26の運動部活動などを推進
35	東京都千代田区	ミズノ株式会社	始業前の「ミズノ体操」実施の奨励、社内スポーツイベントの開催、部活動への費用補助、ウォーキング通勤手当の運用などを実施
36	東京都千代田区	三菱電機株式会社	職場体操の励行や社員のクラブ活動のサポート、ポッチャ練習会・大会出場を実施
37	東京都千代田区	三井住友海上火災保険株式会社	社員の心身健康の増進、年齢・役職や所属部署を超えたコミュニケーションの一層の活性化を目的に、社内公認スポーツ部を積極的に推進・支援
38	東京都千代田区	明治安田生命保険相互会社	ウォーキングを必須とした「健康チャレンジ！キャンペーン」の実施や始業前のオリジナル元気体操の実施等
39	東京都中央区	いちよびビジネスサービス株式会社	始業時に役職員全員参加でラジオ体操を実施
40	東京都中央区	伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	11月・12月を健康月間とし、「階段奨励活動」や「一駅分歩く運動」などの各種健康増進プログラムを実施
41	東京都中央区	株式会社イトー	全社員に万歩計を配布し、江戸五街道の総距離を1年間かけて完歩する「目指せ！五街道制覇！」を実施
42	東京都中央区	株式会社イトーキ	スタンディングワーク・ミーティングの実施等、オフィス環境の整備による健康活動の「Workcise」の促進等
43	東京都中央区	株式会社オーエンス	社内ストレッチの実施や社員による地域のマラソン大会への参加などを実施
44	東京都中央区	株式会社協栄	本社ビル内の階段利用の促進及び所属アスリートによる社員向けのラフティング大会イベントの開催
45	東京都中央区	清水建設株式会社	職場の一体感醸成を目的としたスポーツ大会（ソフトボール、ボウリング、駅伝等）やウォーキングラリーの実施
46	東京都中央区	株式会社シモン	2か月間の歩数をチームで競う「わくわくウォーキング」の実施や、階ごとに応援メッセージを掲示しての階段利用の奨励
47	東京都中央区	株式会社CAC Holdings	社内ポッチャサークルの定期的練習会と体験会の開催及び有志による大会参加
48	東京都中央区	株式会社スポーツビズ	スポーツを通じたコミュニケーションの活性化のため、テニス・フットサル・ゴルフ等のスポーツ活動推進制度を実施
49	東京都中央区	住友生命保険相互会社	職員の健康増進のために各部署にてチームを作り、2週間程度の期間で平均歩数を競い合うウォーキングイベントを継続的に実施
50	東京都中央区	株式会社住吉産業	社員や家族参加でのスポーツ活動（ラジオ体操、ボウリング大会、ソフトボール大会、ヨガレッスン等）を実施
51	東京都中央区	セントラルスポーツ株式会社	同好会活動の推進と支援、自社スポーツ施設の利用推進、本社オフィス内ハトレニングマシンの設置などを実施
52	東京都中央区	太陽生命保険株式会社	従業員の「クアオルト健康ウォーキング」への参加による健康寿命延伸への取組支援
53	東京都中央区	大同生命保険株式会社	従業員の健康増進に向けた取組み「DAIDO-ココ・カラ」（ウェアラブル端末の提供・ウォーキングキャンペーン等）を実践
54	東京都中央区	中外製薬株式会社	従業員や一般市民向けの障害者スポーツ（ブラインドスポーツ、車椅子ソフトボール）体験会の実施
55	東京都港区	アクセント株式会社	27のクラブ活動の支援と社内ポータルサイトを活用したクラブ紹介
56	東京都港区	伊藤忠エネクス株式会社	社員の健康増進・コミュニケーションの質向上を目的として、スポーツ活動を行う社内団体に対して活動費の一部を会社で補助

番号	所在地	企業名	主な取組
57	東京都港区	株式会社ケー・ティー・システム	昇降デスクやスタンディングチェアへの導入
58	東京都港区	広友物産株式会社	朝礼前のラジオ体操や毎月の部門を超えたヨガ教室の開催の他、昇降デスクの導入など「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進
59	東京都港区	株式会社JPホールディングス	従業員の健康増進のための1日2回のラジオ体操の実施やスポーツを通じた社員交流のための社内運動会の開催
60	東京都港区	株式会社じげん	気分転換にオフィスでのスポーツ活動推進とエレベータの原則利用禁止の実践、休日の大会参加や部活動の支援等
61	東京都港区	株式会社叙々苑	スポーツを通じて従業員がコミュニケーションを図り、元気に働ける会社づくりを目的として部活動の推進、運動会・バレーボール大会等を開催
62	東京都港区	株式会社シンカーミクスル	スポーツ企画運営委員を募集し、毎年20回超のイベントを実施するほか、毎年、一大イベントとして東京マラソンへ参加
63	東京都港区	全日本空輸株式会社	2up3down活動やグループ大運動会、バレーボール大会等の実施などスポーツを通じて社員の健康増進と職場の一体感を醸成
64	東京都港区	総合警備保障株式会社	運動部の支援、護身術の奨励や全社対象のサッカー大会「ALSOKカップ」を開催
65	東京都港区	株式会社タクト・マシン・サービス	拠点毎にチームを作り、チャリティ駅伝やその他スポーツイベントへ積極的に参加
66	東京都港区	東亜道路工業株式会社	社員の心と体の健康促進のため、1日1万歩、61日間で61万歩を目標とした社内ウォーキング大会を実施
67	東京都港区	東京ガス株式会社	朝のラジオ体操の実施や、日常の身体活動量の増加のきっかけづくりとしてのウォーキングキャンペーンの開催
68	東京都港区	東京トヨペット株式会社	店舗・部署対抗の野球大会を実施
69	東京都港区	TOTO株式会社	社内運動部の支援やラジオ体操の実施と、社内健康増進セミナーの実施
70	東京都港区	トッパン・フォームズ株式会社	始業前のラジオ体操の実施と社内スポーツ活動（馬術部、剣道部、野球部、サッカー部、スキューバダイビング等）の推進
71	東京都港区	トヨタ東京カローラ株式会社	社員参加のスポーツイベント（ソフトボール、ゴルフ、高尾山登山、モータースポーツ）開催と企業駅伝への参加、ラジオ体操の実施
72	東京都港区	トヨタ東京販売ホールディングス株式会社	就業時間前のラジオ体操の実施と社内クラブ活動のバックアップ
73	東京都港区	日本通運株式会社	健康で明るい職場づくりに向けて、一日2回の「日通体操」の実施
74	東京都港区	日本電気株式会社（NECグループ）	ザ・コーポレートゲームズ東京をはじめとする各種スポーツ大会への参加、ポッチャ部の発足と活動推進及びリフレッシュ体操の実施
75	東京都港区	株式会社バイタルエリア	従業員のサッカー大会参加時の出場給、勝利給の支給や、土曜日サッカーの実施等による生涯サッカーの推進
76	東京都港区	株式会社長谷工コミュニティ	社内スポーツクラブの活動支援及びイベント企画のほか、各部署で合計歩数を競う「レッツウォーキングチーム対抗戦」への参加
77	東京都港区	株式会社ピーエスシー	健康維持増進、組織を超えた社員間のコミュニケーション活性化を目的とし、スポーツサークル活動や、全社スポーツ大会を実施
78	東京都港区	前田道路株式会社東京支店	「スポーツでつくる健康、広がる調和！」のキャッチフレーズのもと、職場全従業員参加でラジオ体操を実施
79	東京都港区	三井化学株式会社	チームや個人で運動量に応じて獲得するマイルをゲーム感覚で貯める、3か月間の健康づくりプログラムの実施
80	東京都港区	株式会社読売広告社	「ザ・コーポレートゲームズ東京2017アジアパシフィック」に4年連続で参加、社内運動部活動の支援
81	東京都新宿区	株式会社アスリートプランニング	陸上部や野球部等の社員部活動の推進、ボクシングやボディビル等の大会出場社員への支援
82	東京都新宿区	株式会社ANSIN-LINK	所属プロ選手や経験者の指導による社員体験プログラム「運動が苦手な方でも楽しもう！」（フットサル、テニス、ボルタリング、スノーボード等）の実施
83	東京都新宿区	株式会社エコプラン	70%以上の社員が参加する7つの部活やサークルの運営を実施、また全国各拠点の社員が参加するスキーツアーを開催
84	東京都新宿区	株式会社オフィス24	社内外向けのパラスポーツ体験「シッティングバレーボール教室」を毎月開催

番号	所在地	企業名	主な取組
85	東京都新宿区	株式会社協和	毎朝、全員参加のスロートレーニングの実施や、スタンディングデスクの導入等「就業時間の3%を社員の健康活動に充てる」ことの社内ルール化
86	東京都新宿区	公益財団法人明治安田厚生事業団	座りすぎ解消のための1分間ランニングと昇降式デスク利用、職場のトレーニング施設の活用等により日常のスポーツ化を推進
87	東京都新宿区	株式会社ザ・ファースト	社内でスタートしたソフトボール大会が憧れの地（神宮外苑軟式グラウンド）での開催で関係先を含め200名を超える規模に成長。
88	東京都新宿区	株式会社スポーツフィールド	新入社員入社式のタイミングに合わせて、全国各拠点から一つの地域に集まり、全社員運動会を実施
89	東京都新宿区	株式会社セノン	毎日15時からのラジオ体操の実施や、部活への支援、社内支社対抗野球大会、スポーツフェスタの実施、スポーツコンシェルジュの採用
90	東京都新宿区	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	クラブ活動の支援とFacebookを用いたクラブ活動、各種イベントの活動記録の発信
91	東京都新宿区	損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	全社員にウェアラブル端末を配布し、ウォーキングキャンペーン「あるこう10,000歩」の実施とクアオルトへの社員参加
92	東京都新宿区	大日本印刷株式会社	社員とその家族の健康確保と活力醸成のため、総合体育祭・駅伝大会・野球大会・ウォーキングイベント等を実施
93	東京都新宿区	日清食品ホールディングス株式会社	社員の健康増進と貧困に苦しむ子どもたちへの支援をマッチングさせた、「快★股★セブンサミット踏破プロジェクト」（階段上りプロジェクト）の実施
94	東京都新宿区	野村不動産パートナーズ株式会社	社員のフィットネスクラブの利用促進とスポーツ同好会の活動支援、全社ボウリング大会等を開催
95	東京都新宿区	株式会社VOYAGE	通勤定期を一駅前までとする、毎日健康・ウォーキング通勤の導入や始業時のVOYAGEストレッチ体操の実施
96	東京都新宿区	マニユライフ生命保険株式会社	楽しく歩くことをサポートしながら社会貢献もできるアプリ「マニユライフワーク」を使用したウォーキングを推奨
97	東京都新宿区	株式会社三越伊勢丹	オリジナルストレッチ「三越伊勢丹体操」を全社で実施
98	東京都文京区	株式会社東京ドームスポーツ	社員への積極的な運動・スポーツへの参加奨励や夏休みラジオ体操会の実施
99	東京都文京区	山本光学株式会社	健康増進を図る取組としてラジオ体操の実施、階段利用の奨励
100	東京都千代田区	朝日信用金庫	ストレッチ体操の実施と職員スポーツクラブ活動の推奨と支援
101	東京都台東区	凸版印刷株式会社	企画から運営まで社員で行う企業運動会の実施
102	東京都墨田区	アルケア株式会社	スポーツ&レクリエーション制度による職場単位の活性化や、社内部活動（マラソン、フットサル等）の推進
103	東京都墨田区	東武鉄道株式会社	本社屋内で毎日15時より3分間、全館に音楽放送を流しての体操時間を設定
104	東京都墨田区	株式会社ルネサンス	ランニングイベントやスポーツ大会参加への積極的支援や自社店舗の休館日・始業前にスタジオを利用して「スポーツ倶楽部」活動等を実施
105	東京都江東区	株式会社アジックス	サマータイム制やスポーツ休暇の施行等の制度変革と、立ち会議や座位でできるリフレッシュエクササイズ等による業務中の運動機会の提供
106	東京都江東区	SCSK株式会社	健康の維持・増進につながる行動をポイント化し、インセンティブを与える「健康わくわくマイレージ制度」で健康経営を推進
107	東京都江東区	SGホールディングス株式会社	ファミリー大運動会やフィットネス教室の開催、階段移動の推奨等を実施
108	東京都江東区	株式会社ぎょうせい	社員による会社周辺での「スポーツごみ拾い大会」の実施や公認部活動への活動支援を通じた社内スポーツの推進
109	東京都江東区	株式会社フジクラ	従業員に歩数計を配布し歩数イベントを年2回開催するほか、健康を意識させるセミナーを開催
110	東京都品川区	株式会社第一テクノ	全社員が積極的に運動することを心がけ、始業前のラジオ体操、午後3時のストレッチ体操の励行、階段利用の推奨などを実施
111	東京都品川区	東京システムハウス株式会社	日本ITチャリティ駅伝への参加や社内サークル活動の促進
112	東京都品川区	日本航空株式会社	朝礼時に「本気のラジオ体操」を実施するほか、各事業所に「ウエルネスリーダー」を配置して職場の健康課題に見合った「ウエルネス活動」を実施

番号	所在地	企業名	主な取組
113	東京都品川区	ヤスマ株式会社	始業時のラジオ体操やボウリング大会・ヨガ教室の実施及び社内フットサルクラブの支援
114	東京都品川区	株式会社ローソン	全国8地区で、全社員が参加する「ローソン元気チャレンジ」の一環として健康大運動会を開催
115	東京都目黒区	株式会社ホリプロ	社員のスポーツ部活動（マラソン、ゴルフ、卓球等）の推奨
116	東京都目黒区	株式会社ユカ	支店・部署対抗の社内運動会や野球大会・フットサル大会を実施
117	東京都大田区	医療法人社団清泉会（山王リハビリ・クリニック）	社員の東京マラソンへの出場と年1回のスポーツフェスタ（社内運動会）の開催の他、月に2回地域体育館で各種スポーツ活動を実施
118	東京都大田区	関西ペイント株式会社	毎朝のラジオ体操やボウリング大会の実施、部活動の推進等
119	東京都大田区	城南信用金庫馬込支店	始業前、近隣のスポーツクラブインストラクターの協力を得てストレッチと筋トレを会議室で実施
120	東京都世田谷区	一般社団法人鬼ごっこ協会	社内活動（フットサル、ジョギング、ウォーキング等）の推進
121	東京都世田谷区	管清工業株式会社	東日本大震災復興支援イベント「ツール・ド・三陸」への社員参加
122	東京都世田谷区	長谷川体育施設株式会社	スポーツクラブやスポーツサークルの支援など、社員のスポーツ参加を促進
123	東京都渋谷区	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2か月間の歩数達成基準を設定し、毎日の歩数を記録する社内ウォーキングキャンペーンを実施
124	東京都渋谷区 世田谷区・目黒区	ウェルネス・ブランド・コーポレーション	姿勢改善ストレッチなど、スタッフへの運動プログラムの実施
125	東京都渋谷区	株式会社ギガプライズ	部活動（野球、ゴルフ等）の推奨と活動費補助等の活動支援を実施
126	東京都渋谷区	共同カイテック株式会社	会社公認部活動の推進や社内放送による毎日のラジオ体操の実施及び社員とその家族が参加するチャリティウォーキングを開催
127	東京都渋谷区	京王観光株式会社	社員のスポーツ活動への活動費補助による支援と部署対抗ソフトボール大会・ボウリング等社内スポーツイベントを開催
128	東京都渋谷区	高栄警備保障株式会社	空手部などの社内部活動の推進
129	東京都渋谷区	公益財団法人日本体育協会	「立ち会議」の実施や、就業前後・昼休みにトレーニング器具や実施場所の提供、シャワールームの開放等を実施
130	東京都渋谷区	合同会社ビーサバイ	トレーナー以外の社員が、空き時間にトレーニングを定期的実施
131	東京都渋谷区	株式会社ゴールドウイン	全社員毎朝のラジオ体操を実施、社内運動会、ウォーキングキャンペーン（3か月間）を実施
132	東京都渋谷区	株式会社サニーサイドアップ	「幸せは歩いてこない」制度や「クラブ活動支援制度」等の運動を通じた健康管理の促進や健康報奨金を支給
133	東京都渋谷区	テルモ株式会社	歩いた歩数を入力してWEB上で植物を育てると、本物の果物が自宅に届く「WEBウォーキング大会 健康チャレンジログ」の実施
134	東京都渋谷区	東急スポーツシステム株式会社	自社運動施設を利用した社内＆系列グループ会社対抗従業員フットサル大会を12年前より開催
135	東京都渋谷区	東京急行電鉄株式会社	「歩く」の習慣化に向けたワークスタイル変革促進や職場対応ウォーキング選手権の実施
136	東京都渋谷区	特定非営利法人日本ウォーキングセラピスト協会	職員同士で仕事の合間に短めのウォーキング活動や、ヨガ体操の実施
137	東京都渋谷区	ドコモ・ヘルスケア株式会社	IoT活用による運動促進、フレックス・在宅勤務の利用、生活習慣の改善、昇降デスクの導入など職場環境づくりによる健康経営の推進
138	東京都渋谷区	株式会社フォーイト	社員全員参加のラジオ体操や部活動等のスポーツを通じた健康増進及び社員同士のコミュニケーション活性化を実施
139	東京都渋谷区	フリービット株式会社	スタンディングミーティング、バランスボールミーティング（イスをバランスボールにした会議室）の実施や、スニーカー通勤の奨励
140	東京都渋谷区	株式会社フルスピード	スポーツを通じたチームワークの強化及び健康増進のため、企業対抗運動会への参加、スタンディングミーティング等を実施

番号	所在地	企業名	主な取組
141	東京都渋谷区	有限会社プレミナ	「目指せ月間100万歩！みんなで歩こうプロジェクト」（通勤時間・業務中徒歩推進イベント）の実施
142	東京都渋谷区	明和地所株式会社	従業員専用トレーニングジムの完備やフィットネスプログラムの実施
143	東京都渋谷区	株式会社メディカルネット	スポーツクラブの設立推奨及び活動費の補助（皇居ラン部、駅伝部、フットサル部、ゴルフ部）
144	東京都渋谷区	株式会社YAZ	YAZ-FESと称して全社員参加の運動会を毎年実施するほか、各種運動部の活動支援を実施
145	東京都渋谷区	リーフラス株式会社	各地域で開催される野球大会を始めとした各種スポーツイベントへの社員の参加及び参加推奨
146	東京都中野区	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	ストレッチやコンディショニング、呼吸法などを内容とした、モーニングマインドフルネスプログラムを社員向けに実施
147	東京都杉並区	日都産業株式会社	ラジオ体操の実施、ランニング同好会・ゴルフコンペの支援等を実施
148	東京都豊島区	アポロメディカルホールディングス株式会社	オフィスへの運動器具導入や社内スポーツ交流会の実施、従業員への自社コンディショニングスタジオ利用の促進
149	東京都豊島区	株式会社Wiz	社内運動会や、ジムデリフ制度（月4回以上運動施設に通うと補助金支給）を実施
150	東京都豊島区	株式会社セレスポ	全社員対象の運動会の開催やクラブ活動の推進
151	東京都豊島区	ライトウェイプロダクツジャパン株式会社	通勤規則や補助制度（特別通勤手当、保険料補助）などを作成しての自転車通勤の奨励
152	東京都北区	株式会社サンアメニティ	社員の地域スポーツイベント（マラソン、自転車、水泳、トライアスロン等）への参加を推奨
153	東京都北区	タツミ産業株式会社	毎週水曜日の出社時に階段（3階）利用の促進
154	東京都北区	日本交通株式会社赤羽営業所	「早朝ウォークアンドラン」の実施やスポーツイベントの開催、所内スポーツジムの開設等、スポーツを身近にする環境づくりを推進
155	東京都荒川区	城北信用金庫	地域スポーツイベントへの社員出場と運営支援
156	東京都板橋区	スポーツコミュニティ株式会社東京支社	社内のスポーツ活動の奨励や、活動に対する補助金の支給
157	東京都板橋区	株式会社スマートスポーツエンターテイメント	運動不足解消とコミュニケーションづくりのため、スタッフや取引先とともにスポーツ活動（フットサル、ランニング、バスケ等）を実施
158	東京都板橋区	是吉興業株式会社	社員の自転車通勤の推奨と、競技と仕事を本気で両立するための実践の場、ホグレル硬式野球部の活動支援
159	東京都板橋区	ねづくりニク	従業員自らの健康増進のため、立位接客、徒歩・自転車での出勤励行と音楽をかけながらの清掃を兼ねた運動を実施
160	東京都練馬区	株式会社アメディア	デスクワークで凝り固まった、首、肩を軽くするため、毎日午後3時から3分間ストレッチの実施
161	東京都練馬区	サンシン電気株式会社	身近な運動として、エレベーターやエスカレーターを利用せず、階段利用を推奨・実践
162	東京都江戸川区	株式会社HSコーポレーション	毎年、全社員で25kmのナイトウォークやHS運動会を実施
163	東京都八王子市	株式会社スタートライン	テニスを通じた社員交流会の実施と社内部活動（ダンス、トライアスロン、ゴルフ等）の促進
164	東京都八王子市	株式会社ムラウチドットコム	スポーツイベントやマラソン大会への従業員の参加などを奨励し、結果をブログで共有、また階段利用や徒歩通勤等を促進
165	東京都立川市	株式会社アスティーク	ラジオ体操の実施や親睦ゴルフコンペの実施
166	東京都立川市	多摩信用金庫	役職員・家族大運動会の実施及び地域スポーツイベントへのスタッフ派遣
167	東京都立川市	株式会社立飛ホールディングス	ラジオ体操の実施や部活動の推進、スポーツクラブとの法人契約、社員の立川シティハーフマラソンへの出場
168	東京都武蔵野市	株式会社トーションパートナーズ	朝のラジオ体操と部活動（サッカー部・野球部）の実施

番号	所在地	企業名	主な取組
169	東京都府中市	国際ソフトウェア株式会社	IT技術者の多い社員に歩く楽しさを浸透させるため、部門対抗歩け歩け大会を実施（健康診断で血中脂質の高い社員は参加必須）
170	東京都町田市	医療法人社団三医会	自転車・徒歩通勤者への健康手当の支給や、企業対抗スポーツ大会への参加、毎週月曜日の朝のラジオ体操などを実施
171	東京都国立市	株式会社アミックグループ	社員による地域のスポーツ大会・イベントへの参加や応援及び協力
172	東京都多摩市	有限会社村装	テニスやパデルの競技において、地域のイベント、試合など社員に積極的に参加を推奨
173	東京都多摩市	トヨタ西東京カーロー株式会社	本社社屋の階段移動の推奨やラジオ体操・ストレッチの実施の他、社内運動部への活動費支援
174	東京都八丈島	株式会社ウェルネスファームひょうたん島	島内運動会に企業チームとして参加
175	神奈川県横浜市	学校法人五大	従業員及び家族へのスポーツスクールの受講優待・補助制度を通じたスポーツ実施機会の提供
176	新潟県新潟市	蒲原ガス株式会社	従業員向けの毎朝のラジオ体操の実施及び野球部の大規模な大会への参加に対する参加費補助や特別休暇取得などの支援
177	新潟県新潟市	株式会社シانس	社員が健康増進に関する行動目標を設定しチャレンジするイベント（2か月間）の他、「減量グランプリ」を開催し、減量率の高い社員を社長が表彰
178	新潟県新潟市	ダイニチ工業株式会社	社員の部活動の支援と、全社員による運動会やラジオ体操の実施、また、新入社員研修時に30kmウォーキングを実施
179	新潟県新潟市	第一生命保険株式会社 新潟支社	毎朝の朝礼時によるラジオ体操の実施と社員の「新潟シティマラソン」への参加奨励
180	新潟県新潟市	株式会社新潟クボタ	社員の健康増進のため、毎朝、全社的にラジオ体操を20年間継続実施
181	新潟県新潟市	新潟運輸株式会社	始業前のラジオ体操の実施とマラソン・ランニングを実施している従業員へのランニング用ユニフォームの支給
182	新潟県新潟市	新潟信用金庫	庫内運動部・愛好会・同好会活動（野球部・卓球部・マラソン・サッカー等）への支援
183	新潟県新潟市	社会福祉法人新潟みずほ福祉会	新潟市早起き野球大会へ26年連続出場するほか、スポーツクラブ活動（綱引、フットサル、マラソン、ウォーキング、ソフトバレーボール等）への支援
184	新潟県新潟市	北陸ガス株式会社	毎朝始業時にラジオ体操を実施、また、地域代表として大会参加する際の特別休暇取得制度の導入
185	新潟県長岡市	株式会社サカタ製作所	社員駐車場をあえて遠くに配置して歩く習慣づくりや、社員にヨガマットを配布し、昼休みに体操等のために会議室を開放するなど運動機会を創出
186	新潟県長岡市	株式会社大光銀行	始業前のオリジナル健康体操の実施と行内運動部（野球部、剣道部、ランナース）の活動支援
187	新潟県三条市	株式会社兼古製作所	社員が自由に参加できる週2回の社外スポーツ活動（卓球、バレーボール）時間の設定と、登山・スノボなどの同好会的活動の実施
188	新潟県三条市	三条信用金庫	クラブ活動（野球部、卓球部）への支援
189	新潟県三条市	シマト工業株式会社	朝礼時のラジオ体操の実施と社員のスポーツ活動（野球部、フットサル部、スキー部等）への助成
190	新潟県三条市	パール金属株式会社	エレベータの各階に標語を掲出することによる階段利用の促進及び三条市推進「ちよこつと筋トレ」による運動機会の創出
191	新潟県三条市	株式会社マルト長谷川工作所	ラジオ体操・日替わり筋トレメニューの実践と三条市推進「ちよこつと筋トレ」による運動機会の創出
192	新潟県柏崎市	柏陽鋼機株式会社	空きスペースの活用の観点から、広い駐車場で軽運動（キャッチボール等）の実施や倉庫2階へのミニゴルフ練習場の設置
193	新潟県柏崎市	株式会社ブルボン	多種目の自社スポーツサークル活動・大会等の実施や社外スポーツ大会への参加、朝礼時の体操や徒歩通勤の奨励などを実施
194	新潟県新発田市	新発田ガス株式会社	34年前から継続して毎朝のラジオ体操を実施
195	新潟県新発田市	新発田ヤクルト販売株式会社	従事者が自ら筋トレやジョギング等の目標を設定して実践する、自己管理『健康宣言』を推進
196	新潟県新発田市	株式会社ハードオフコーポレーション	7つの運動部活動の支援や社員の「新潟シティマラソン」への参加奨励、及び社員・グループ企業社員を対象とした野球大会を実施

番号	所在地	企業名	主な取組
197	新潟県小千谷市	阿部幸製菓株式会社	40年以上にわたる朝のラジオ体操の実施と社員のスポーツ活動への助成金支給
198	岐阜県多治見市	株式会社アクトス	健康体操や活動量計使用による日常歩数の把握、ロビーへの張り紙により体力のセルフチェックやフィットネスを実施
199	静岡県浜松市	社会福祉法人聖隷福祉事業団	社内でのスポーツイベントへの助成金給付等、職員の自発的な健康増進に資する活動への支援を実施
200	愛知県名古屋市	愛知県自動車販売健康保険組合	ボウリング場やプールの利用補助や、テニス大会・健康ウォークへの参加奨励
201	愛知県名古屋市	佐久間特殊鋼株式会社	SAKUMACOMOチャレンジ（フィットネスチェック、エクササイズ）の実施やプチ健康増進コーナー（エアロバイク等）の設置
202	愛知県豊橋市	株式会社Performance Reha	ストレッチやピラティス等を行いながら、リラックスした状態でのミーティングの実施
203	愛知県東海市	医療法人社団大須賀医院 おおすが整形外科	社員間でスカッシュバレー、野球やテニスを実施
204	愛知県大府市	星和化成株式会社	毎週月曜日の朝礼前の待ち時間を利用して、座位でできる体操のビデオを放送、それ以外の曜日は各部署でラジオ体操を実践
205	静岡県沼津市	一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津健康診断センター	各課・係ごとに歩数記録、階段利用、筋トレ実施などの活動内容を設定して半年間実践し、その内容を表彰する「スマートライフコンテスト」を実施
206	京都府京都市	もりした循環器科クリニック	診察前のラジオ体操の実施、京都マラソンへの参加と練習会、月1回のボウリング大会等を実施
207	大阪府大阪市	株式会社クリアネット	「クリエイターにも健康意識を！」を合言葉に社内部活動にて企業対抗駅伝やマラソン大会への参加、富士山登山などを実施
208	大阪府大阪市	ロート製薬株式会社	全社員参加の体力測定会の実施や朝活（朝のストレッチや健康的な食事）の実践、チーム対抗での歩数計測を実施
209	大阪府羽曳野市	医療法人はあとふる（はあとふるグループ）	併設フィットネスジムの利用や「0円ジム」と名付けた階段利用の推進など運動機会の提供
210	大阪府大阪市	パナソニック ビジネスサービス株式会社	卓球大会、AJTA（玉入れ）大会の実施、体操・ストレッチ時間の設定
211	兵庫県神戸市	有限会社浅田コーポレーション	ラジオ体操やスタンディングミーティングの実施、ルディックウォーク、ランニング等の指導・参加、年3回のランニング記録会の実施等
212	兵庫県神戸市	神戸商工会議所	毎週水曜日に本部（ポートアイランド）から三宮まで約4kmの徒歩帰宅を奨励、一定回数参加した職員には靴を進呈等
213	兵庫県神戸市	バンドー化学株式会社	参加者のニーズに応じたオーダーメイドのオフィスヨガや運動教室、家族も参加可能な社内運動会など、心身のリフレッシュに向けた“わくわく”健康づくり
214	岡山県岡山市	株式会社両備システムソリューションズ	社外からインストラクターを招いてのオフィスサイズ（簡易エクササイズ）の実施、「肩こり解消」簡易手順書を作成し社内配布
215	福岡県福岡市	社会保険労務士法人アドバンス	社員によるフットサル・ラジオ体操の実施
216	福岡県久留米市	アサヒシューズ株式会社	Wonderful walking（ウォーキングイベント）の実施及びスポーツ活動費用補助制度の整備
217	福岡県北九州市	グラッチャ子ども運動トレーニングセンター	社員及び社員の友人まで参加可能なスポーツアフターワーク（仕事終わりの運動）の実施

②主な認定企業の取組の紹介

◆株式会社じげん（東京都港区）

4階建てのビルではエレベーターの利用を原則禁止とし、階段の利用を促進。コミュニケーション創出のため、踊り場に掲示板を設置したり、4階にのみ自販機や女性専用パウダールームを設置し、階段での行き来を増やすような動線設計をしている。



◆株式会社サカタ製作所（新潟県長岡市）

健康的に長く歩く習慣を身に付けさせたいと考え、社員駐車場を社屋から離れた場所に設営。より遠くの駐車場ほど車間を広く取り、屋根の雪を落としてもドアがぶつからないとPR。また、運動を兼ねて階段の雑巾がけを実施したところ、愛着が湧き階段利用が促進された。



◆ロート製薬株式会社（大阪府大阪市）

自立した健康管理ができる健康人財の育成を目的として、国内10拠点で全社員参加の体力測定会の開催や朝のオリジナル体操、始業前の体幹トレーニング+健康朝食の提供（朝活）などを実施している。また、全社運動会等で会社全体の一体感の創出に取り組んでいる。



◆神戸商工会議所（兵庫県神戸市）

毎週水曜日（ノー残業デー）に、本部から三宮までの約4kmを徒歩で帰宅する「Challenge Wednesday」を実施。半年間で一定回数参加した社員には、地元シューズメーカーの靴を贈呈。管理職が率先して参加することで、所内の健康意識の向上を図っている。



（6）スポーツエールカンパニー認定制度の今後に向けた課題

- ✓ 各企業の取組事例の共有を活性化することで、未認定の企業への刺激とする。
- ✓ スポーツエールカンパニーという認定制度自体の認知度向上が課題。
- ✓ 認定企業からの積極的な広報・PR発信が必要。
- ✓ 認定企業限定のインセンティブを付与する等、認定企業へのメリットを具体的にすることも検討する余地がある。

3. 全体の考察、まとめ

運動・スポーツ習慣の定着による健康増進を図るという目的のため FUN+WALK PROJECT、スポーツエールカンパニーの認定制度の立ち上げを行った。また、本事業の成果を考察するための調査も実施した。

FUN+WALK PROJECT においては、「楽しい」をプラスするというコンセプトのもと、キーアクションの設定、イベント等を実施してきた。“歩きやすい服装”での通勤というキーアクションは、個人、企業、自治体なども共感を得ることができ、その結果、流通、自治体、シューズメーカー、百貨店などと連携を取ることができた。官民連携プロジェクトとしての良いスタートが切れたと思われる。

また、ご当地キャラクターと連携することで、各キャラクターからの情報発信などにより、広く地域での展開も行われた。また、老若男女誰からも愛されるご当地キャラクターはネガティブな反応が無く、プロジェクトを推進するに当たって、最適なキャラクターだったと言える。

一方で、キーアクションの定着には、企業トップの理解獲得、企業全体での取組導入が課題と言える。その他、販促ツールとして本事業を利用する企業との連携も強化することで、「楽しみながら歩くこと」の定着を目指すべきだと思われる。

「FUN+WALK PROJECT」の認知拡大も課題である。認知者ベースでは約 1 割の人が「歩く」ことを増やしたり、始めたりといった実際の行動変化を起こしており、4 割程度の人が意識変化を起こしているため、プロジェクトによる行動・意識変化は期待できる。

また、“歩きやすい服装”での通勤というキーアクションに加えて、つつい歩きたくなるような「動機作り」や、コンテンツの発信を充実させることで、プロジェクトをより広く普及できると思われる。

スポーツエールカンパニーは、健康増進に取り組む先進事例として認定することで、他の企業の取組活性化に期待できる。認定企業への具体的なインセンティブ付与が今後の課題である。

ビジネスパーソンの運動・スポーツ習慣の定着による健康増進には、各企業経営者や地方自治体、団体の協力が不可欠である。個人への働きかけに加えて、企業・自治体との連携をさらに強化することで本事業を強く推進することができると思われる。